

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料①	金城大学と白山市及びその他自治体との連携事業	3
資料②	学校法人金城学園第3期中期計画（抜粋）、令和4年度大学機関別認証 評価評価報告書（抜粋）	6
資料③	金城大学の過去5か年の入学者数、入学定員充足率	13
資料④	第2次白山市総合計画2017～2026（抜粋）	14
資料⑤	第2期白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（抜粋）	25
資料⑥	白山市SDGs未来都市計画（2021～2023）（抜粋）	32
資料⑦	石川県環境総合計画（抜粋）	36
資料⑧	金城大学「総合政策学部総合経済学科」の新設に関する要望書	38
資料⑨	企業100社の経営者または人事担当者へのヒアリング結果	39
資料⑩	金城大学総合政策学部総合経済学科（仮称）の設置構想に関するアンケート調査集計結果	44
資料⑪	金城大学総合政策学部総合経済学科（仮称）の設置構想に関するアンケート調査集計結果【金城大学短期大学部ビジネス実務学科対象】	73
資料⑫	北陸三県内の私立大学経済学系学部の令和4年度学生納付金	80
資料⑬	金城大学総合経済学部総合経済学科アドミッション・ポリシー	81
資料⑭	金城大学の出身地別学生数	82
資料⑮	北陸三県の高等学校の県別生徒数（令和4年度学校基本調査）	83
資料⑯	中学校・高等学校における理系選択に関する研究最終報告書（抜粋） 〈国立教育政策研究所〉	84
資料⑰	全国の総合経済学科を有する大学	85
資料⑱	日本私立学校振興・共済事業団 入学志願動向 （学部別志願者5年間集計）	86
資料⑲	令和4(2022)年度日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」（抜粋）	87
資料⑳	リクルート進学総研 2022年度入試実態調査報告書（抜粋）	90
資料㉑	リクルート進学総研 2021年度入試実態調査 分野別志願割合（抜粋）	91
資料㉒	リクルート進学総研マーケットリポート 2021年4月 18歳人口予測	93
資料㉓	リクルート進学総研マーケットリポート 2023年2月	

	地元残留率の推移	94
資料②④	大学進学時の都道府県別流入・流出率	96
資料②⑤	北陸三県の経済学系学部を有する大学の入学定員数	97
資料②⑥	石川県内4年制大学の立地状況	98
資料②⑦	総合経済学科リーフレット	99
資料②⑧	令和5年度オープンキャンパス日程	101
資料②⑨	金城大学資料請求者数の推移	102
資料③⑩	金城大学就職状況	103
資料③⑪	総合経済学部総合経済学科 就職支援体制	105

金城大学と白山市及びその他自治体との連携事業

1 金城大学の地域連携事業：7つのプロジェクト

I. ゆうがく広場 * 白山市

世代間交流事業として、地域の高齢者を本学に招き、アクティビティ・プログラムや介護予防のためのプログラムを実施している。

II. 悠遊健康サークル * 白山市

地域の知の拠点としての機能強化、地域に根付いた活動や地域住民との交流の拡大を図ることで、地域住民一人ひとりの主体的な心身の健康づくりを支援している。

III. 足のけんこう教育プロジェクト * 白山市

白山市内を中心とした幼稚園、保育所（園）、小学校、中学校、高等学校と緊密な連携のもと、幼児、児童、生徒の足と靴の調査および経時的変化を追跡、分析し、足の健全化を図る地域連携事業を実施している。

IV. B-assist プロジェクト * 白山市、野々市市

石川県内の高校・中学校を対象に「部活動支援プロジェクト」を実施している。B-Assist プロジェクトは、医療健康学部がもつ知識・技術を生かし、学校部活動場面での競技能力の向上、ケガの発生・再発の予防などを支援している。

V. 脳わかわかくらぶ * 野々市市

各地域コミュニティへ出向き、地域高齢者の認知症予防の一助になることを目的に、高齢者の認知機能チェックと予防体操を実施している。

VI. やまの保健室 * 白山市

白山麓地域の高齢者が、住み慣れた地域で健康生活を目指すために、地域連携事業として「やまの保健室」を開設し、健康生活の維持活動などの様々な事業を実施している。

VII. 地域健康長寿プロジェクト * 白山市、野々市市

健康長寿達成者を対象に調査を実施し、地域住民の介護予防と健康増進活動に繋げる取組として、①生活歴、②口腔・嚥下機能の評価、③フレイル（虚弱）状態の評価、④生活機能の評価等、徐々に健康長寿の達成に向けた関連要因の把握を行っている。



2 イオンモール白山との連携「KINJO健康キャンパス」

悠遊健康サークルを中心とした、上記7つの研究プロジェクトが共同し、イオンモール白山の施設を活用し、地域住民向けのイベントの企画、運営を行っている。このイベントを通して、高齢者の健康増進や地域貢献につなげていく。

3 白山市大学パートナーシップ事業による支援

はくさんタニタ健康クラブの会員を対象に、体力テスト（サルコペニア・ロコモ・フレイルの診断にもなる）を開催している。

4 SDGs 活動 * 白山市

- (1) 白山市、千代野公民館、クリーンビーチいしかわ（エフエム石川）と協働し、徳光海岸清掃や稚魚の放流、レクリエーションとしてビーチサンダル飛ばし大会を開催している。SDGs の認知度向上や啓発活動を実施し、白山市 SDGs 推進大使のタレント「ぶんぶんボウル」も協力している。
- (2) 白山市企画課 SDGs・地方創生推進室協力のもと、金城大学公衆衛生看護学専攻科において「公衆衛生看護でSDGsを考える」をテーマとした講義を行っている。
- (3) 金城大学看護学部と白山市千代野公民館が共同し、SDGs の認知度向上を図ることや地域連携活動の一環として「SDGs カードゲーム」を開催している。

5 「いいとこ白山鉄道まつり2022」 * 白山市

白山総合車両所や令和6年春開業予定のビジターセンターをはじめとした鉄道に関わる施設等を有する白山市を「鉄道のまち」として全国へ魅力を発信するため、白山市と白山商工会議所青年部が「いいとこ白山鉄道まつり2022」を企画し、金城大学の施設を会

場として本学も運営に関わり開催した。

6 KINJO およこひろば「たんぱりん」

本事業は、金城大学と金城大学短期大学部の連携事業として令和4年度4月に開設された金城子育て支援センターが運営する子育てひろばである。保育者養成課程の学科と附属幼稚園を持つ本学の特色を生かし、お子さん・ご家族と学生・スタッフ・附属幼稚園児・地域の方々が様々な形で関わりながら、子育て・子育ての楽しさや喜びを共有しともに育つ場を創造していく。

7 白山市社会福祉協議会と金城大学との共同ボランティアセンター *白山市

「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結し、本学の松キャンパスを福祉避難所としている。また、白山市社会福祉協議会と「白山市災害ボランティアセンターの設置に関する協定書」を締結し、大規模災害時には笠間キャンパス内にボランティアセンターを設置する。

8 地産地消の促進 *白山市

白山市地産地消課と金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科が共同し、地元白山の地産地消を促していくため、「なぞなぞかるた」「地産地消を促す紙芝居」を制作、幼稚園や保育園などで実演などを行っている。

9 あたまとからだの健康増進事業

事業プログラム認証委員会において、運動プログラムの開発や検証、身体機能と認知機能の評価尺度を設定し、本事業における介入効果について、科学的根拠に基づいた評価を行う。

10 金城大学公開講座 *白山市、野々市市

白山市、野々市市などの後援のもと、市民を対象とした公開講座を毎年実施している。

11 金城大学保健・医療・福祉創造フォーラム *白山市、野々市市

白山市や野々市市及び地域の各種団体との共催により、平成19年より毎年開催し、地域の福祉・健康・医療・教育などに関するテーマを掲げ、行政、市民とともに、その問題点や課題を探っている。

12 その他

本学教員が、各々の専門分野の知見を活かし、白山市や地元経済界の各種審議会委員や、各種研修会や講演会の講師などを務め、地域に根差した高等教育機関として、産官との連携を通じて、地域貢献活動を行っている。

学校法人金城学園

第3期中期計画

<社会の変化に対応し、地域・社会に必要とされる人材を育成する。>

令和3（2021）年4月1日～令和8（2026）年3月31日

令和3（2021）年3月

し、社会の福祉の寄与することができ、指導的な役割を果たす人材を養成することと解している。

イ 金城大学短期大学部の設立の理念

「手づくりの温かさを持った教育」

教員と学生の全人格的な触れ合いによって、学生一人ひとりの個性を伸ばす教育を行うこと。

「金城から地球を歩こう」

遊学の精神を受け継ぎ、気軽に世界へ乗り出し、また、地球規模で物事を考え、世界を相手として活躍できる人間を育てること。

(4) 高等学校、幼稚園の教育目標

ア 遊学館高等学校の教育目標

「文武に励み、自らの品格を高めるとともに他者の人格を重んずる心を養い、遊学の精神を持って未来を切り拓く人間を育成する。」

イ 金城大学附属西南幼稚園の教育目標

「一人ひとりの個性を伸ばしながら、人間形成の基礎を養い、自主的にあそべる子どもを育成する。」

2. 第3期中期ビジョン・基本方針

第3期中期計画を策定するに当たり、金城学園の「第3期中期ビジョン」、「基本方針」を次のとおり定める。

(1) 第3期中期ビジョン

建学の精神、教育理念に基づき、「社会の変化に対応し、地域・社会に必要とされる人材を育成する。」を第3期中期ビジョンとする。

(2) 基本方針

我が国社会の少子高齢化が進み、社会の変化が速度を増す中で、金城学園は、変化に対応し、地域・社会に必要とされる人材を育成して、地域・社会の発展に寄与する学園となることを目指す。

第3期の教学に関する基本方針として、教育の質的向上を図りながら、地域・社会のニーズに応える教育を行い、研究や地域連携活動と併せて地域の活性化に貢献することを掲げる。

(5) 経営・財政に関する目標

「入学定員を確実に充足し、財政基盤を確保し、収支の均衡を達成する。」

各学校とも入学定員を確実に充足し、収入を安定させるとともに、財務指標の目標を設定し、かつ、施設・設備の計画的な整備を行うことによって、収支均衡を達成することを目指す。

入学定員の充足に関しては、学校の教育力・ブランド力を高め、併せて効果的な学生募集や広報を遂行して実現を図る。

(6) 組織・運営体制に関する目標

「ガバナンスを強化し、FD・SD活動を推進することによって、法人本部及び各学校の機能強化を目指す。」

建学の精神・教育理念等に基づく各学校の教育目標を達成し、有為の人材を育成するため、自己点検・評価による改善・改革を推し進め、教育研究活動等の一層の充実に寄与できる組織・運営体制を構築する。

(7) 学園創立 120 周年記念事業に向けての目標

「令和 6 (2024) 年の創立 120 周年に向け、更なる学園の発展を目指し、それを具現化する記念事業を実施する。」

記念事業として、学部・学科等の新增設や教育施設の新築の検討を行うとともに、建学の精神・教育理念・設立の理念等の再解釈を含め、本学園の発展に資する事業を計画し、実行する。

4. 重点計画

第 2 期の検証及び第 3 期の背景、基本方針及び中期目標を踏まえ、重点計画を次のとおりとする。

(1) 教育研究、地域連携活動

大学においては、社会福祉学部の改組を最重点項目とし、教職課程の再編を含む国家資格を取得できる課程の充実にも取り組む。また、教学マネジメントを確立し、教育の質の向上を推進する中で、教養教育を充実させ、学部間連携教育・国内外の諸機関との連携協力を推進する。研究活動においては、大学として組織的な活動を強化し、種々の教育活動と併せて地域の活性化に資するとともに、科学研究費補助金等の研究資金の獲得件数の増加を含む、個々の教員レベルでの研究活動の活性化を図る。

短期大学においては、各学科のコース編成や教育課程を適宜検討し、必要に応じて再編するとともに、学科定員の見直しを行う。また、教学マネジメントを確立し、教育の質の向上を推進する中で、基礎教育科目を充実させ、学科間連携教育・外部の諸機関との連携協力を積極的に取り組む。さらに、種々の教育活動を通じて、地域の活性化に資する産学連携、地域連携活動を推進する。

高校においては、教育目標を達成するため、教育の質の向上と授業のICT化に取り組む。併せて、教育課程の改善を中核として、大学・短期大学との連携や海外姉妹校との交流、進路指導の充実などにより進学実績を伸ばすとともに、人間教育を通じて学校生活に関する生徒の満足度を高める。課外活動については、強化指定部を中心とする部活動の更なる活性化や図書室の整備、学校行事の充実を図る。

西南幼稚園においては、保護者、地域のニーズに応え得る教育の推進に向けて、教育活動の体系化、大学・短期大学との連携及び点検・評価・改善のシステムを強化する。

(2) 組織運営

学部・学科・課程などの教育組織の編成においては、時代や地域社会の状況に適合したものとなるよう整備し、これに対応する教職員を計画的に配置する。併せて、体系的なFD及びSDを推進し、教職員の資質向上、能力開発を促進するとともに、大学及び短期大学教員の人事考課制度の導入を検討する。

また、各中期計画等の実現に向けて、特に大学及び短期大学では教職協働を推進し、関係部署と役割の枠を越えて十分な意思疎通を図り、共通の意識の下に一丸となって諸課題に取り組むこととする。

なお、金城幼稚園の存廃については、令和5年度末までには結論を出すこととする。

(3) 施設設備

短期大学及び西南幼稚園は、開学・開園から45年が経過していることから、当初に建築した校舎の改築又は大規模改修を、第4期あるいは第5期中期計画の主要な施設計画とする。併せて、高校の学生寮の再編（新築を含む。）を重点項目とする。

このほか、各学校の校舎の改修、補修を年度ごとに計画的に行うとともに、情報ネットワーク環境を整え、情報機器を含む実習室・演習室・特別教室等の教育用機器備品を計画的に更新する。

(4) 経営・財政基盤

健全な財政を維持し、教育研究活動を活性化させるため、教育の質の向上、広報・情報発信の充実を着実に実施し、適切な学生・生徒・園児の定員充足率を維持する。なお、定員充足が困難な部門については改組（定員の見直しを含む。）又はその準備を行う。さらに、教職員の計画的な配置や業務の効率化による支出抑制を図るとともに、補助金等を積極的に獲得し、併せて寄附金の募集についても前向きに取り組む。

金城大学

令和4年度 大学機関別認証評価
評価報告書

令和5年3月

公益財団法人 日本高等教育評価機構

金城大学

I 評価結果

【判定】

評価の結果、日本高等教育評価機構が定める評価基準に適合していると認定する。

II 総評

「基準 1. 使命・目的等」について

大学の三つの教育の特色を明確に掲げており、全教職員の共通理解を図り、学生にも浸透し教育活動によく反映している。大学の使命・目的及び教育目的は組織的に継続的な見直しを行い、学生便覧、ホームページ等に掲載し学内外へ周知している。大学の使命・目的は「学校法人金城学園第 3 期中期計画（令和 3(2021)年 4 月 1 日～令和 8(2026)年 3 月 31 日）」（以下「第 3 期中期計画」という。）に反映し、三つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に生かしており、3 学部 5 学科 1 研究科を設置して教学活動を実践し、その具現化に努めている。また、学部と直結した委員会の配置により業務の効率化を図っている。

〈優れた点〉

○法人のビジョン・中期計画を理事長が毎年教授会で説明し、大学の使命・目的の再確認を毎年組織的に行うなど、共有・浸透・実践に常に注力している点は評価できる。

「基準 2. 学生」について

アドミッション・ポリシーのもと多様な選抜制度を設け、入学者選抜を適正に実施し、IR 委員会で入学者選抜の妥当性について検証を行っている。大学全体として概ね学生数を確保しているが、「戦略 WG」「学生プロジェクト WG」「高大連携 WG」を設け学生募集の強化に意欲的に取り組んでいる。学生数名に対し修学指導担当教員一人を配置し毎月学生面談を行い、きめ細かい学修支援を実践している。経済的支援として独自の「金城大学学費減免奨学生制度」などを設けている。校地面積・校舎面積は設置基準を満たしており、アクティブ・ラーニングを重視し全館内で無線 LAN 環境を整え ICT（情報通信技術）環境を充実させている。キャンパス内はバリアフリーを適切に整備し、「学生との意見交換会」や「学生生活アンケート」を実施し、学生の要望に対応策を講じ回答を学内掲示している。

〈優れた点〉

○修学指導担当教員が一人当たり数人の学生を担当し、毎月修学ポートフォリオを利用した学生の面談を行うなど、きめ細かい学修支援を実践していることは評価できる。

「基準 3. 教育課程」について

各学部・研究科においてディプロマ・ポリシー及び成績評価基準及び単位認定基準を定

を毎年組織的に行うなど、共有・浸透・実践に常に注力している点は評価できる。

基準 2. 学生

【評価】

基準 2 を満たしている。

2-1. 学生の受入れ

2-1-① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知

2-1-② アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証

2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持

【評価】

基準項目 2-1 を満たしている。

〈理由〉

教育目的を踏まえアドミッション・ポリシーを定め、入学者選抜ガイド、学生募集要項に掲載するとともにホームページで公表し、周知を図っている。また、アドミッション・ポリシーに沿った学生を獲得するために、総合型選抜をはじめ多様な選抜制度を設け、入学者選抜実施委員会のもと、入学者選抜を公正かつ適正に実施している。毎年度、IR 委員会で入学者選抜の妥当性検証を行っている。

社会福祉学部は収容定員未充足の状態が続いているが、医療健康学部と看護学部は収容定員に対して適切な受入れ数を維持しており、大学全体としては概ね学生数を確保している。また、「戦略 WG」「学生プロジェクト WG」「高大連携 WG」を設け、学生募集の強化に意欲的に取り組んでいる。

〈参考意見〉

○社会福祉学部社会福祉学科及び子ども福祉学科については、定員未充足の状態が続いているので、学生確保に向けた今後一層の努力が望まれる。

2-2. 学修支援

2-2-① 教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備

2-2-② TA(Teaching Assistant) 等の活用をはじめとする学修支援の充実

【評価】

基準項目 2-2 を満たしている。

〈理由〉

学修支援の組織体制は、教員組織と事務組織が緊密な連携のもと教職協働で取り組んでいる。また、学生数人に対し修学指導担当教員一人を配置し、修学ポートフォリオを利用し

金城大学の過去5か年の入学者数、入学定員充足率

学部名	学科名	項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
社会福祉学部	社会福祉学科	志願者数	142	149	146	149	130
		受験者数	141	142	145	149	130
		合格者数	118	123	121	118	111
		入学者数	63	57	59	71	69
		入学定員	90	90	90	90	90
		入学定員充足率	70.0%	63.3%	65.6%	78.9%	76.7%
	子ども福祉学科	志願者数	100	154	123	95	116
		受験者数	99	151	119	94	116
		合格者数	85	129	90	77	96
		入学者数	46	66	50	45	70
		入学定員	70	70	70	70	70
		入学定員充足率	65.7%	94.3%	71.4%	64.3%	100.0%
医療健康学部	理学療法学科	志願者数	205	213	221	177	175
		受験者数	202	213	219	176	172
		合格者数	95	102	121	111	106
		入学者数	63	64	64	65	67
		入学定員	60	60	60	60	60
		入学定員充足率	105.0%	106.7%	106.7%	108.3%	111.7%
	作業療法学科	志願者数	70	89	98	64	70
		受験者数	69	86	97	64	70
		合格者数	58	63	76	49	60
		入学者数	25	30	35	23	31
		入学定員	30	30	30	30	30
		入学定員充足率	83.3%	100.0%	116.7%	76.7%	103.3%
看護学部	看護学科	志願者数	382	413	368	328	325
		受験者数	357	402	350	313	312
		合格者数	183	195	200	216	185
		入学者数	82	85	85	87	90
		入学定員	80	80	80	80	80
		入学定員充足率	102.5%	106.3%	106.3%	108.8%	112.5%

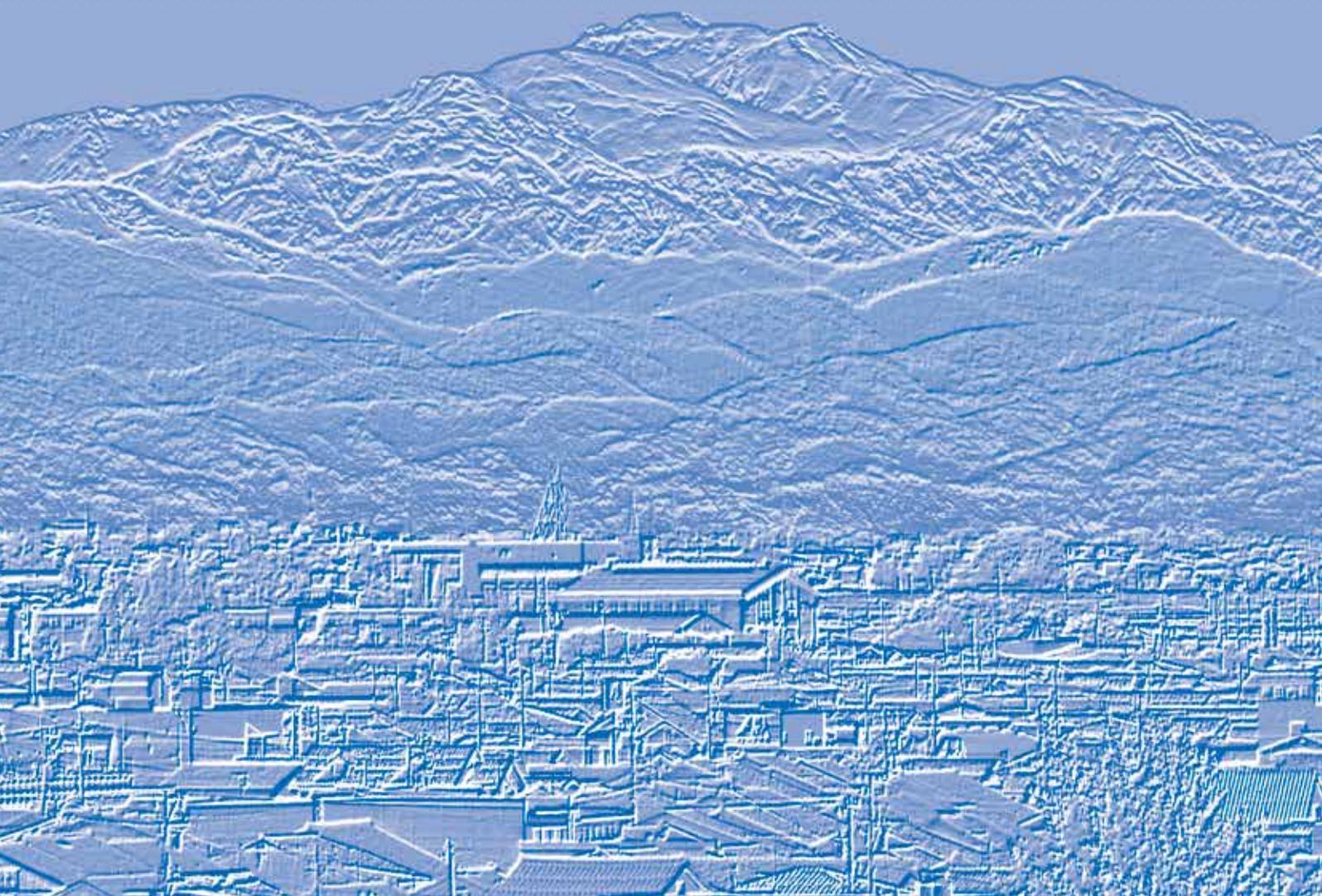
健康

笑顔

元気

第2次白山市総合計画

2017～2026



白山市

2節 基本理念

健康 …… 市民一人ひとりが健康で活躍するまち

まちづくりの主役は、白山市で生まれ育った人、白山市に新たに住む人、白山市を訪れる人、白山市で働く人、白山市を愛する人など、全ての「市民」です。

全ての「市民」が、家庭や地域、社会などの様々な舞台で個性を発揮し、一人ひとりが心も体も健康で、活躍するまちをめざします。

笑顔 …… 地域や世代を超えた交流による笑顔あふれるまち

県内最大の市域を誇る白山市には、様々な地域があり、多様な価値観をもった「市民」が生活を営んでおり、様々な可能性に満ちあふれています。

これら様々な可能性の具現化に向け、全ての「市民」が、ふるさと白山市への郷土愛を持ち、互いを尊重し、協力し合いながら、自ら楽しみチャレンジすることにより、地域や世代を超えた交流が生まれ、笑顔あふれるまちをめざします。

元気 …… 人も自然も産業も元気なまち

白山市には、白山、手取川、日本海などの自然の恵みに育まれた歴史、伝統、文化、産業、そして「市民」の活動があり、多くの魅力が凝縮されています。

この多様な魅力を最大限に引き出し、育むとともに、新たな魅力を創造することで、人も自然も産業も元気に輝き、活力みなぎるまちをめざします。

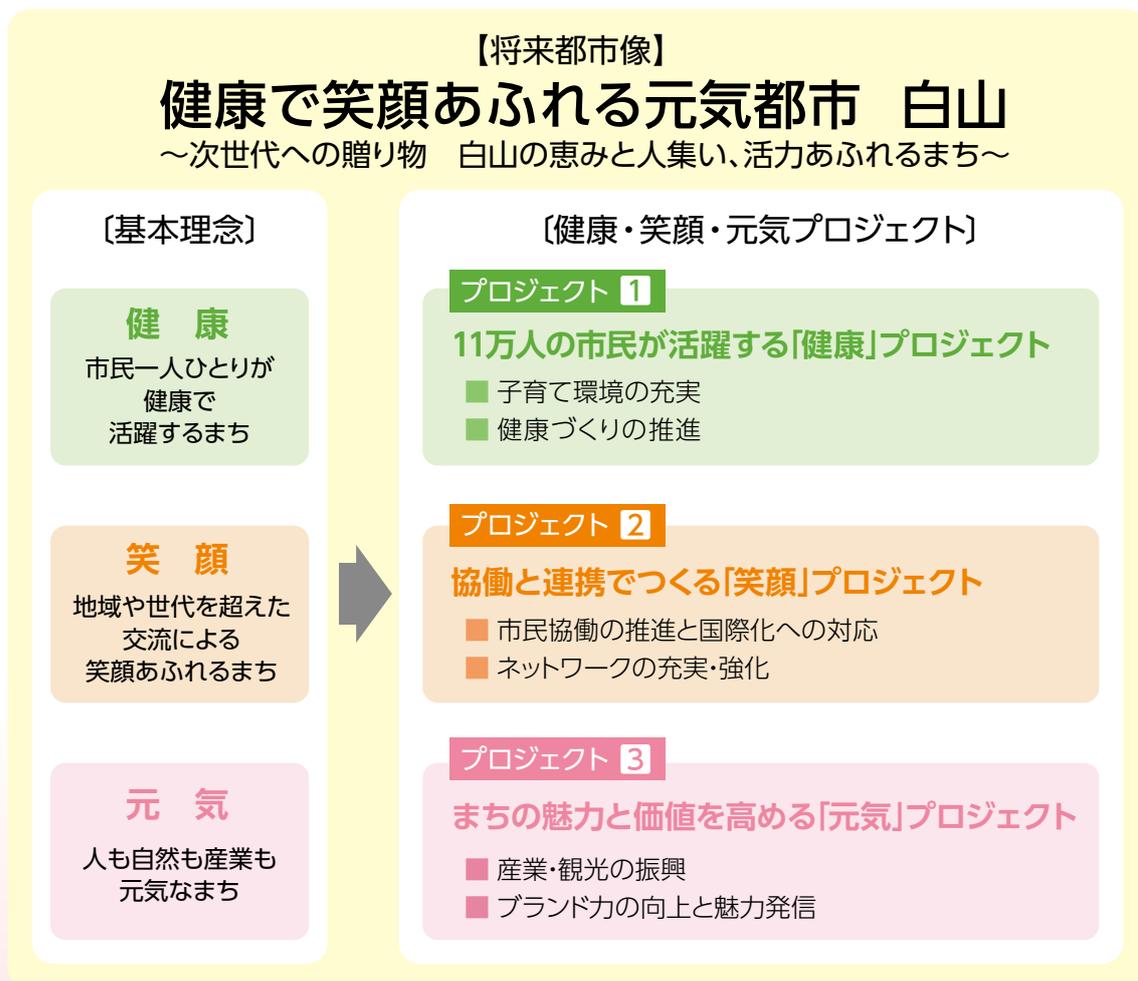


● 重点プロジェクト

健康・笑顔・元気プロジェクト

第2次白山市総合計画では、今後の10年先を見据えた視点から、少子高齢化や人口減少に対応し、未来に明るく、夢と希望にあふれた、活力あるまちを目指すため、基本計画の各章に掲げる各種施策を推進するほか、各章を横断した重点的な施策を展開することにより、将来都市像である「健康で笑顔あふれる元気都市 白山 ～次世代への贈り物 白山の恵みと人集い、活力あふれるまち～」を実現させるため、本計画の基本理念である「健康」「笑顔」「元気」の視点から、次の3つのプロジェクトを設定します。

このプロジェクトについては、平成27年度に実施した市民1万人アンケートの調査結果や市民会議、まちづくり会議などを通していただいた様々な市民の声を反映するとともに、将来都市像の実現に向けて実施する様々な施策の中でも、優先度の高い取り組みとして位置づけるものです。



1-4-1 市民主体による健康づくりの推進

現状・課題

■ 少子高齢化や疾病構造の変化が進む現在、健やかで心豊かに生活できる社会の実現に向け、生活習慣や社会環境の改善が求められています。特に、高齢化が進む中で、健康寿命の延伸に向け、生活習慣病の予防が重要となっており、自身の健康状態を把握した上で適切な生活習慣を心がけることが大切です。

今後は、市民一人ひとりが健康に関心を持ち、ライフステージに応じた心身機能を維持し、生活習慣病を予防するため、各種健診の受診者を増やす必要があります。

また、個人の健康を社会全体で支える環境整備として、健康づくり意識の高揚を図りながら、健康づくりグループの育成・強化が必要です。

基本的方向

1. 健康寿命の延伸

健康寿命を延ばすための大きな要因である生活習慣病の予防に向け、健康状態を把握し、適切な生活習慣に取り組みめるよう、健康診査受診者を増やすとともに、検査内容等の充実を図るほか、白山石川医療企業団では、人間ドックの検査内容等について、市民ニーズを把握しながら充実を図ります。

また、白山のいち医師会等と連携を図りながら、糖尿病性腎症などの重症化予防対策を強化するとともに、がんによる死亡者数を減らすため、がん検診受診者の増加に取り組みます。

さらに、健康生活支援企業と連携して市民の健康づくりに対する意識の高揚を図るとともに、地域資源を活かした新たな健康づくり事業の展開や健康づくり支援団体の育成に努めます。



健康ウォーキング



健康セミナー

1-5-1 健全な公的保険制度の運営

現状・課題

- 本市の国民健康保険は、被保険者は減少していますが、医療費は伸びています。
このため、国民皆保険の根幹をなす国民健康保険の運営をより安定化させ、今後も安心して医療を受けることができるよう取り組む必要があります。
- 超高齢社会を見据え、「介護」を社会全体で解決すべき問題と捉え、社会保険制度として誕生した介護保険制度は、保険給付を円滑に実施するために、その時代に応じて様々な制度改革が行われています。
今後も引き続き、介護を必要とする全ての高齢者が必要かつ十分なサービスを受けることができるよう、介護保険に関する制度の安定に向けて取り組む必要があります。

基本的方向

1. 国民健康保険事業の健全運営

健全な保険運営を目指し、医療費に関する通知やレセプト点検により、医療費の適正化を図ります。
また、白山ののいち医師会等と連携しながら、特定健診及びがん検診の受診者の増加を図るとともに、重症化予防への取り組みを推進します。

2. 介護保険事業の健全運営

要介護認定者数や特別養護老人ホーム等の施設入所待機者数等の推移や介護サービス利用意向等を把握し、必要なサービスの確保に努めます。
また、パンフレットの配布やまちかど市民講座等を通じ、介護保険事業に関する周知活動を行います。



特定健診の実施風景



特定保健指導の個別指導

施策の展開

基本的方向	施策の概要（★印は重点項目）	実施時期		実施主体
		前期	後期	
1. 国民健康保険事業の健全運営	医療費の適正化	→	→	市
	★生活習慣病の発症及び重症化予防【再掲 1-4-1】	→	→	市、医師会
2. 介護保険事業の健全運営	介護保険制度の理解促進	→	→	市
	給付内容分析と適正化の推進	→	→	市
	サービス供給体制の充実	→	→	市、市民、事業者
	福祉人材の育成・確保	→	→	市、国、県、事業者、大学

市民協働に向けて

- 健診や保健指導により市民の健康意識を高め、市民自ら生活改善に取り組めるよう支援します。
- 一人ひとりの医療費の適正化に向けた意識づけや介護保険制度の仕組み等の周知により、社会保障制度の適正な運営に向けた理解と意識啓発を図ります。

目標指標

指 標	単位	現況値	目標値		備 考
		(年度)	2021年度 (H33)	2026年度 (H38)	
特定健診の受診率	%	51.7 (H27)	62.0	62.5	
特定保健指導の指導率	%	78.0 (H27)	79.5	81.0	

5-1-3 地産地消の推進とブランドの育成

現状・課題

- 本市では、稲作を中心としながら、その地域に応じた多様な農林水産業が営まれています。地域で生産された農林水産物を地域で消費する「地産地消」の取り組みとして、地元農林水産物のブランド認証を図るとともに、地元産品の紹介と調理方法の提案をはじめ、地元の旬の食材を食べることによる市民の健康づくりへの取り組みに努めるなど、地産地消の推進を図ってきました。今後は、平成27年3月に策定した「第2次地産地消推進計画」に掲げた各種取り組みを推進するとともに、生産者やJA、関係機関との連携や市外に向けた働きかけを促進することで、「地産地消」を通じた地域の交流・活性化につなげることが大切です。
- これまでの地産地消や食育の取り組みに加え、商業や観光業などの他分野との連携を進めることにより、地元農林水産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化による新商品の開発支援のほか、道の駅をはじめとする各種販売施設における販売支援などを通して、地元農林水産物のさらなる消費の拡大と農業所得の向上を図る必要があります。



第2次地産地消推進計画

基本的方向

1. 地産地消や食育の推進

生産者や事業者との連携による食のイベントの開催などにより、地元農林水産物の認知度の向上及び販売活動を促進します。また、学校給食での地元産農林水産物のさらなる使用量の増加に向け、集配手段の確保などのサポート体制の強化を図るとともに、地元生産者と学校との連携を支援し、食育の推進に努めます。

2. 6次産業化の推進、新たな特産品づくり

国や県の6次産業化の支援制度に加え、6次産業化にチャレンジしようとする生産者などを対象とした市独自の支援策を設け、新たな特産品づくりを推進します。また、特に優れた6次産品については、ブランドとして認証し、市内外へ幅広くPRするなど、販売促進活動を展開します。



ふれあい給食

5-2-2 企業への支援による活力の創出

現状・課題

- 本市には、機械金属、IT、化学工業などの業種のモノづくり産業を中心とした企業の集積が進んでいます。一方、情報化の進展や経済のグローバル化により、今後さらに、国際競争に対応する技術力の向上や新しい分野における工業展開、企業体質の改善が求められています。
加えて、地球温暖化や高齢化等を背景として、低炭素・省エネ型社会や安全・安心型社会の実現への要請が高まっていることから、今後は、将来の成長を見据えた次世代有望分野への戦略的な取り組みが必要です。
- 本市や近隣自治体には、高等教育機関が多数立地し、「知」の集積が図られています。
今後は、これらの立地条件を生かした付加価値の高い製品開発を行うため、産学官金連携や異業種交流を図るとともに、新しい技術や人材の育成を図る必要があります。
- 経済のグローバル化や人口減少を背景とした国内市場の縮小など、中小企業を取り巻く経済・社会構造は変化しており、これまでの大企業の下請けといった取引関係ではなく、自らが市場の需要を獲得する必要性に迫られています。
このため、中小企業への各種経営支援や融資制度などの育成・支援により、経営革新や販路開拓等に取り組みやすい環境づくりが求められています。
一方で、海外の中間層・富裕層が増加する中、海外展開も視野に入れた販路開拓が求められています。

基本的方向

1. 先端産業・次世代産業の創出支援

今後、市場の拡大が見込まれる分野において、炭素繊維や医療産業等の先端的製品・技術、福祉や環境などの産業の創出・育成を推進し、先端産業及び次世代産業の創造を図ります。

さらに、既存産業とIoT技術などのIT産業との融合を推進します。

2. 産学官金連携・異業種間交流の促進

国際競争力の向上や産業の活性化のため、産学官金の連携や異業種の交流を促進し、企業の技術力の向上を図るとともに、新たな製品・技術の開発を支援します。

また、高等教育機関との連携のもと、産学官金の人的交流や情報の共有化を進め、人材の育成や資金の融通を図るとともに、新たな産業の創出に努めます。

3. 経営革新・販路開拓等への支援

中小企業が今日的な経営課題に即応するためには、経営革新や新しい取引先の確保が必要です。

このため、販路開拓セミナーの開催支援やアンテナショップによる販路開拓を進めるほか、商工振興強化事業を推進します。

また、市内の中小企業等による海外市場の開拓や企業の国際化対応に向け、国際見本市等への自社製品の出展に際して奨励金を交付します。

5-2-3 商業の振興によるまちの賑わいの創出

現状・課題

■ 本市の中心市街地の商店街は、それぞれ古くからの商業や文化など、多様な都市機能が集積し、人々の交流の場として賑わいを形成してきた「まちの顔」ともいうべき地域です。

しかし、近年の大型商業施設の郊外立地など商業を取り巻く環境の変化や経営者の高齢化、後継者不足などに伴い、既存店舗の存続も危惧される状況にあり、その対策が必要です。

■ 本市では、駅付近や既存商店街でも空き家・空き店舗等が多く存在するなど、中心市街地の空洞化が懸念されており、その対策が必要です。

また、白山ろく地域では、空き家率が高いことから、空き家の発生が地域の魅力低下や居住者の減少に直結してしまう恐れがあり、早急な対策が必要となっています。

■ 全国的に商店街の衰退・空洞化問題が深刻化する中、多様化する消費者ニーズに対応した魅力ある商店街づくりが求められています。

このため、利用しやすい地域密着型の商店街の拡充に向け、各商店街の実情に即した効率的な活性化対策が必要です。

また、地域での消費を喚起するためのしかけづくりや地域ビジネスの振興など、地域内の経済循環による持続的な地域経済活性化の仕組みづくりが求められています。

基本的方向

1. 後継者育成など事業承継の支援

店舗として存続できるよう、商店街等が活性化のために自主的に行う研修等に対して支援するとともに、経済団体と連携を図り、後継者育成など、事業承継の支援を推進します。

2. 空き家・空き店舗の活用などの出店しやすい環境づくり

商店街や白山ろく地域において、新規出店する者に対し、空き家・空き店舗の利活用に向けた支援を行うことにより、生活基盤と働く場の創出を促進します。

3. 地域内経済循環の確立

商店街については、歩道のバリアフリー化やポケットパークの整備、良好な景観の保全など、来訪者や市民が歩いてまちなかを巡ることのできる環境の整備を進めるとともに、各種イベントを開催し、賑わいの創出を図ります。

また、増加する高齢者の購買ニーズに応えるため、民間企業の移動販売への参画や公共交通の利便性向上など、買い物弱者対策の強化を図ります。

さらに、商工業連携による異業種交流を支援し、技術に加え、商業やサービスの視点も含む事業連携を促進し、地域に根ざしたビジネスの振興を図ります。

5-3-1 若者の地元就職の促進と安定した雇用の確保

現状・課題

■ 県内には、大学をはじめとする高等教育機関が複数立地しています。

今後はさらに、インターンシップの受け入れを通して、企業と大学の交流促進を図るとともに、学生と企業のマッチング機会を提供することで、より多くの地元大学生の定着化が求められています。

■ 本市では、これまでに県外大学等に進学した若い世代のUIJターンを図るため、合同就職説明会を開催し、市内及び県内外の大学生等に対して、市内企業のPRに努めてきましたが、大学生等が希望する業種と市内企業とのミスマッチや大学生の大手企業、首都圏等への就職志向など、市内企業の人材確保には課題があります。

今後、若者の地元就職に向けた効果的な取り組みが求められています。

■ 本市は、県内でも有数の工業従業者数・製造品出荷額を上げており、女性の就業率も県内最高水準となっています。

今後は、本市の基幹産業である機械、電子関連などの既存産業の維持・成長を図りつつ、新たな企業誘致による産業の種類の拡大を図るとともに、中小企業の経営支援などを通して、地域の雇用と経済の維持・拡大を図ることが求められています。

■ 本市には、牛首紬、美川仏壇、加賀獅子頭などの伝統工芸がありますが、需要の低迷や後継者不足など、厳しい状況にあり、知名度の向上や後継者育成など、伝統工芸の継承を図るための取り組みが求められます。

また、農産品を中心とした特産品の開発やブランド化に向けた支援を行い、産業の一層の活性化による雇用確保が求められます。

基本的方向

1. 企業と大学の交流促進、インターンシップの実施

大学、県、関係機関等と連携を図り、市内企業における大学生のインターンシップの受け入れを実施することにより、就業意識の醸成を図るほか、地元定着を支援します。

2. UIJターンの促進

首都圏等を含めた大学生の市内企業への就労の拡大と人材の確保を図るため、UIJターン希望者や北陸三県、首都圏の大学等に通う学生に対し、合同就職説明会を開催するほか、県の「いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）」と連携を図り、市内企業の各種情報を提供します。

また、企業に対し、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスなどに対する意識高揚を促し、労働環境の向上に向けた支援を行います。

3. 企業誘致の推進と既存企業への支援

企業誘致を推進するとともに、各企業が有する技術や製品について、国内外に向けた販路開拓活動を支援するとともに、新製品の開発やIoT化など新たな事業活動の促進による産業の活性化を図ります。

また、地域の雇用と経済を支える市内中小企業の近代化・生産性向上による経営基盤の安定化を図るとともに、人材の確保・育成を支援します。

4. 伝統産業等の継承

本市の伝統工芸品について、全国への情報発信を行うとともに、後継者の育成などに努め、伝統工芸の継承を図ります。

また、特産物の生産拡大を図るほか、開発した商品の白山ブランドの確立を支援します。

6-2-2 自然や歴史のブランド力の向上

現状・課題

■ 白山と周辺地域の世界文化遺産登録への取り組みは、国内暫定リストへの追加記載を目指し、提案書を提出しましたが、主題の再整理、構成資産の組み換え、さらなる比較研究等が必要との評価を受けたことから、共同提案した自治体と連携し、主題や構成資産について検討する必要があります。

また、市内全域をエリアとする白山手取川ジオパークは、平成23年9月に日本ジオパークの認定を受けました。ジオパークの推進には市民と一体となった活動の積み重ねが重要であり、資源の保護・保全、教育・研究、ツーリズムによる地域振興等の継続した活動が求められるほか、ユネスコ世界ジオパークの認定に向けては、さらなる情報発信やガイド育成等の取り組みの強化が必要です。

さらに、白山ユネスコエコパークは、白山を取り巻く4県7市村の環白山地域をエリアとして昭和55年に登録され、平成28年3月に拡張登録が承認されました。10年ごとに定期報告が必要であり、ユネスコエコパークの掲げる3つの機能（保護機能、学術的研究支援、経済と社会の発展）を果たすために、構成する環白山地域との連携のもと、持続可能な活動の推進が必要となっています。

■ 本市ではこれまで、白山温泉郷や白山菊酒などの重要な観光資源のブランド化を進め、観光客の誘客に取り組んできました。

今後、引き続き本市特有の自然や文化などの観光資源について、さらに魅力を発掘しつつ、ブランド力の向上を図り、他との差別化による誘客力の向上を目指すことが重要です。

基本的方向

1. 世界に向けた活動の推進

ジオパークをツールとして、自然資源や地域遺産の保護・保全、ツーリズムの基盤づくり、教育・科学の普及などの取り組みを推進する一方、ふるさと学習を通して私たちの地域の魅力アップに努めます。

そして、ユネスコの正式プログラムとなったユネスコ世界ジオパークの認定を目指していきます。

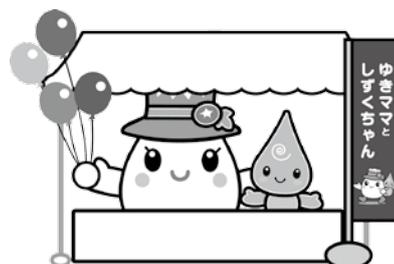
また、ユネスコエコパークの継続的な普及啓発活動に努めるとともに、白山の自然や文化を伝える取り組みや活動への支援及び管理運営計画の策定を促進し、環白山地域のさらなる連携を深めていきます。

世界文化遺産登録においては、厳しい評価の現状のなか、これらの活動の積み重ねにより、その道筋を見極めていきます。

2. 観光資源のブランド力の向上

自然や歴史遺産をはじめ、観光拠点のブランド化に向け、各種関係団体の連携を深め、地域ぐるみの活動を盛り上げるとともに、官民が連携して観光のPR活動を展開します。

特産品や地元食品等を販売する事業者と連携し、観光拠点内での販売、観光PR会場での販売等を行い、ブランド力の向上を図ります。



白山手取川ジオパークイメージキャラクター
ゆきママとしずくちゃん

第2期 白山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

健康で 笑顔あふれる 白山市

-持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の実現を目指して-

令和2年3月

4) 目標の達成に向けた重点的な取り組み

人口ビジョンで掲げる 2060 年に人口 10 万人の確保を実現するため、総合戦略の目標年次である 2024（令和 6）年には概ね 111,000 人の人口を維持する必要がある。そのため、基本目標ごとに成果指標及び重点的な取り組みを設定し、施策展開を図る。

基本目標 1

しごと

商工業の集積と農林水産資源を活かした
「仕事・雇用」創生戦略

<成果指標> 基準(H30) 目標(R6)
●市内従業者数 54,992 人 ⇒ 55,900 人
●女性の就業率 53.3% ⇒ 54.6%

<重点的な取り組み>

- 6次産業化の取り組み支援
- 創業支援の推進
- 企業誘致の推進

基本目標 2

ひと

白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を
活かした「観光・交流」創生戦略

<成果指標> 基準(H30) 目標(R6)
●人口の社会増減数 +511 人 ⇒ +2,500 人(5年間)
●観光入込客数 485 万人 ⇒ 520 万人

<重点的な取り組み>

- ◎(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの整備
- ◎高等教育機関との連携による Society5.0 等を活用した地域産業の振興
- ◎地域と多様に関わる関係人口の拡大
- ◎白山の魅力の発信
- 市外からの定住者への住宅購入費等の支援
- 土地区画整理事業による宅地の整備促進

健康で 笑顔あふれる 白山市

目標人口：2024年で約111,000人
⇒2060年に10万人確保

基本目標 3

ひと

安心して子どもを産み育て生涯活躍できる
「健康・福祉・教育」創生戦略

<成果指標> 基準(H30) 目標(R6)
●合計特殊出生率 1.59 ⇒ 1.67
●健康寿命(男性) 80.4 歳 ⇒ 80.6 歳
(女性) 84.8 歳 ⇒ 85.0 歳
●要介護・要支援者の割合 16.7% ⇒ 18.4%

<重点的な取り組み>

- ◎女性の活躍の場の創出
- ◎共生のまちづくりの推進
- 健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進
- 子育てに関する切れ目のない支援
- 若年層の新築住宅の購入への支援
- 新婚者への家賃補助
- 三世代同居・近居の支援

基本目標 4

まち

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らし
を守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

<成果指標> 基準(R1) 目標(R6)
●住み良いと感じる割合 72% ⇒ 現状維持

<重点的な取り組み>

- ◎新たな地域コミュニティ組織による市民協働で創るまちづくりの推進
- ◎白山ろく地域の活性化に向けた地域資源の活用による個性の発揮
- 公共交通の利便性の向上
- 空き家対策の推進
- 連携中枢都市圏の推進
- 鳥獣害対策の推進

[凡例] ◎… 第2期からの新たな取り組み

(4) 地元の大学や企業等との連携による地域活性化の推進

①市内・県内での進学や就職の促進

・魅力ある大学づくり等への支援により地元大学への進学を促進するとともに、学生と企業のマッチングにより学生の定着化を促進する。
内 容
○大学等の魅力向上による地元大学への進学促進
○市内就職を促進する求人確保とマッチング機会の提供

②大学と地域や企業等との連携の強化

・県内の大学と企業等の連携により、地域の課題解決に取り組み、地域経済の活性化を図る。
内 容
○SDGs 未来都市計画関連事業の推進
○大学等との連携による Society5.0 を活用した地域産業の振興
○再生可能エネルギー ^{※1} の導入と利用促進
○日本版CCRC ^{※2} の推進（多世代交流・多機能型拠点の整備）
○薬草産地化 ^{※3} の促進

※1 再生可能エネルギー：太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどのエネルギー源として持続的に利用することができるもの（白山ろく自然資源の活用を調査検討する取り組み）

※2 CCRC：健康時から介護時まで継続的ケアを提供するコミュニティ（Continuing Care Retirement Community）

※3 薬草産地化：薬草を通じた学生と地域住民との交流・教育・研究・商品化に関する取り組み。

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
市内大学卒業生の市内企業就職率	12.6%	15%
SDGs 関連事業	1件	10件
SDGs の認知度	44%	75%
大学・地域等の連携事業数	57件	70件

(2) 子どもから高齢者まで生涯学び続けられる教育環境の充実

①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進

・健康を維持・向上する体力づくりを推奨するとともに、新聞を活用した授業を取り入れ、豊かな自然や文化に触れるなど、本市独自の教育活動等を通じ、郷土を思う意識や愛着を深める教育を推進する。
内 容
○市内高等学校の魅力アップ支援
○情操豊かで互いに思いやる心の育成
○新聞を活用した学校教育の推進
○野外体験活動の機会増加の推進
○地域の文化や自然への理解を深める体験活動の推進
○スポーツに親しめる環境づくり及びジュニア競技の育成・強化の推進
○野球場などのスポーツ施設の整備及び活用

②誰もが安心して学べる環境の整備

・経済的な理由や通学が困難な地域の児童・生徒等に対する各種支援や学習環境の充実を図るとともに、パソコン配備によるICT化など、誰もが安心して学べる環境づくりを推進する。
内 容
○学習環境に対するきめ細かい支援（少人数教育の推進・外国語教育の充実等）
○小中学校のICT化の推進
○教育の経済的負担に対する各種支援
○遠距離通学者への支援

③生涯学習の推進

・様々な生活環境や地域に根差した歴史や文化があり、そこに暮らす子どもから高齢者までの各世代のニーズに応じた生涯学習を推進する。
内 容
○学習機会の充実
○生涯学習ネットワークの構築
○図書館サービスの充実

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
白山ろく地域高等学校通学費助成の利用率	73%	80%
図書館の利用人数	505,062人	505,000人

(3) 女性や中高齢者・障害者などが安心して活躍できる環境の充実

①仕事と家庭の両立の支援

・保育サービスの多様化や放課後児童クラブの運営の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う企業の表彰や、経営者への意識啓発により働き方の改善を促進することで、仕事と家庭の両立を支援する。
内 容
○育児・介護休業や職場復帰等がしやすい環境づくりの促進
○ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む事業所の促進
○経営者への意識啓発

②共生のまちづくりの推進

・全ての市民が障害の有無にかかわらず、人格と個性を尊重し、共に生きる環境づくりに向け、普及啓発による理解促進のほか、各種相談や支援体制を充実する。
内 容
○コミュニケーション手段の普及啓発
○障害者等の就労に関する理解促進
○保育や教育における相談、支援体制の充実

③誰もが活躍できるまちづくり

・女性をはじめ、中高齢者などが安心して活躍できる環境を整備する。
内 容
○女性の社会参加と活躍できる環境整備への支援
○単身中高齢者が安心して生活できる支援体制の充実
○高齢者の社会参加への支援

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
延長保育を行う保育所数	31 か所	33 か所
病児・体調不良児保育を行う保育所数	20 か所	24 か所
放課後児童クラブ入所希望者の入所率	100%	100%維持
子ども食堂の運営団体数	11 団体	15 団体
審議会等の女性登用率	30.4%	40%

(4) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

①医療体制の充実

・医療機関の受診が困難な方の適切な医療を確保するとともに、祝休日等でも診察を受けられる医療環境の充実を図る。
内 容
○地域医療体制の充実
○緊急医療体制の充実
○広域による夜間小児科診療の充実

②健康寿命の延伸

・生活習慣病の早期発見及び保健指導による生活習慣の改善並びに生涯スポーツ、健康生活支援企業との連携や食を通じた健康づくりにより、健康寿命の延伸を図る。
・元気なうちから様々な社会活動への参加や、ウォーキング・健康器具等を用いた健康づくり、介護予防体操等に取り組むことで、介護予防の推進を図る。
・働くことやボランティアなど高齢者の活躍の場を提供・支援し、社会参加を促進することにより、高齢者の生きがいがいづくりと健康寿命の延伸を図る。
内 容
○各種検診や保健指導の充実
○食を通じた健康づくりの推進
○介護予防の推進
○健康生活支援企業と連携した健康づくりの推進
○生涯スポーツやウォーキング・健康器具・遊具を活用した健康づくりの推進

③支え合いの体制づくり

・地域包括ケアシステムの推進などにより、住み慣れた場所で、安心して暮らし続けられる福祉体制の充実を図る。
内 容
○福祉団体活動の充実
○地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みの推進

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
特定健診の受診率	51.7%	62.3%
がん検診受診者数	23,324人	24,756人
地域ケア会議の開催回数	5年間で 173回	5年間で 350回

(3) 魅力と愛着のある地域づくりの推進

①市民協働で創るまちづくりの推進

・地域の課題解決やコミュニティ力の向上に向け、人材育成や新しい地域コミュニティ組織の設立等に取り組むことで、市民との協働によるまちづくりを推進する。
内 容
○地域の課題解決に向けた人材の育成
○新しい地域コミュニティ組織の設立及び支援

②連携中枢都市圏の推進

・近隣市町と連携し、圏域全体の経済成長や高次の都市機能の集積・強化を図るとともに、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図る。
内 容
○圏域全体の経済成長のけん引
○高次の都市機能の集積・強化
○生活関連機能サービスの向上

③コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出^{にぎ}

・コミュニティ活動を支える人材や団体の育成を図るとともに、公民館及び地域コミュニティを中心とした地域づくりや食などの特色あるテーマを題材とした活動の促進などにより、地域の活性化を図る。
内 容
○公民館活動の支援及び地域コミュニティへの支援
○地域づくり団体や青少年団体の育成
○イベントの開催による地産地消の推進

④特色のある文化活動の振興

・各種文化・芸能活動の促進による文化の振興や、同じ地域に住む市民の多文化共生を図る。
内 容
○地域の文化活動への支援
○国際交流・多文化共生の推進

白山市 SDGs未来都市計画 (2021～2023)

白山の恵みを次世代へ贈る「白山市SDGs未来都市ビジョン」

白山市

② 今後取り組む課題

高度成長期と共に目まぐるしい経済成長を遂げたことにより、人々の価値観が「経済」に偏りすぎる中で、社会活動の拠点が平野部の都市へと移行し、2005年の合併以後、平野部の人口は増加傾向にあるものの、山間部では2割以上の人口減(2020年10月末現在5,488人)となっている。また、平野部と山間部では、年少人口割合が平野部で14.7%、山間部で8.5%、老年人口割合が平野部で25.6%、山間部で46.7%(平成27(2015)年国勢調査)となっており、地域間の格差は広がり、市民の一体感が生まれにくい状況下にある。

さらに山間部では、人口減少と高齢化による過疎化に伴い、自然環境が放置され、サルやイノシシによる鳥獣被害が増加し、その被害額は昨今増加傾向にある。2015年5月に手取川源流部での大規模な地すべりが発生し、高濃度の濁水は下流の農業、漁業等に大きく影響をもたらしたほか、2014年4月と2015年6月には、地域経済や生活を支える唯一の幹線道路である国道157号(東二口地内)で法面が崩落し、一時通行止めになり、その脆弱性が浮き彫りになるなど、土砂災害による新たな課題が発生しているが、根本的な解決に至らない状況にある。

かつては、山間部のみならず平野部を含む白山周辺一帯で、白山の水の恵みを受けて生活する多くの人々が「白山の水をいただく」という感覚で山を仰いでは感謝の祈りを捧げてきた時代があった。今一度、白山市民が一体となって、白山の恵みに感謝するとともに「次世代の価値観」を醸成し、「経済」「社会」「環境」が調和し、特に女性の活躍により、地域が発展し続ける次世代の都市の循環を、世界基準で再形成しなければならない。

本市では、このような課題に対し、SDGsの視点に基づく取組の必要性を認識し、全庁横断的かつ効果的に推進するため、2018年3月19日に市長を本部長とする「白山市SDGs推進本部」を設置し、全部局でSDGsの取組を推進していくこととしている。

また、2019年度にはSDGs・地方創生推進室を新設し、より一層の普及啓発の取組とともに、全庁を挙げてSDGsを推進する体制を強化した。

2013年5月に白山市と包括的な連携協定を締結した金沢工業大学は、2018年4月には本市の山間部に白山麓キャンパスを開設した。金沢工業大学では、「自ら考え行動する技術者の育成」を教育目標に掲げ、2016年に就任した大澤敏学長が、「世代・分野・文化を超えた共創教育研究の推進」という新たなビジョンを打ち出しており、大学の新たなブランディング事業の一環として、新設される白山麓キャンパスに産学官民連携の拠点「KITイノベーションハブ」を設置すると共に、学長自らが所長を務める「地方創生研究所」を開設した。

2017年末には、SDGs推進センターを設立するとともに、これまでの社会と連携した教育研究やASEAN諸国との大学連携による教育研究を推進してきた成果が認められ、「第1回ジャパンSDGsアワード」において、SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しており、大学全体でSDGsの推進に尽力している金沢工業大学との包括的な連携協定を基盤とし、白山市SDGs未来都市の実現に向け取り組んでいく。

(3) ステークホルダーとの連携

1. 域内外の主体

【NPO 法人白山しらみね自然学校】

市民参画による地域資源の保全と活用策の企画や事業化、エコツアーガイドの養成等を行うトータルサポート型組織として、これまで取り組んできた、自律的で持続可能な地域振興策のノウハウから、「白山手取川流域コミュニティ(=白山ソサエティ)」で実践する SDGs プロジェクトの推進をサポートする。

NPO 法人白山しらみね自然学校との連携を強化することで、山間部の自律的で持続可能な地域振興策を、市民参画によってすべての地域に繋げることが可能となる。

【金沢工業大学 (石川県野々市市)】

本事業における産学連携の推進や市民・学生への充実した学習機会を提供し、市民参画によるまちづくりへの参画意識の醸成を図る。金沢工業大学の白山麓キャンパスは、本事業を推進する上での拠点として活用することが可能になると共に、これまでの SDGs の要素を取り入れた教育研究実績やノウハウを活用することで、白山未来都市の基盤整備から事業の実施までスピード感をもって実施することが可能となる。

また、金沢工業大学で学ぶ学生にとって、白山麓キャンパス周辺の白山ろく地域で活動することは、イノベティブな企業やポジティブな市民と共にバックキャストिंगの思考に基づいて社会課題の解決や新たな価値の創造に取り組むことが可能となり、学生自身を大きく成長させる重要な機会となる。また、教員がこれまで取り組んできた研究成果を、産学連携によって社会課題解決の要素として落とし込む機会にも繋がる。

【金城大学】

金城大学看護学部が本市の山間部においてこれまで推進してきた、「やまの保健室」事業を中心に、看護学部の学生ボランティアと教員、さらには「白山手取川流域コミュニティ(=白山ソサエティ)」の実現に向けて参画する企業、市民との共創から、健康寿命延伸等をテーマとした SDGs プロジェクトの推進を図る。これまでの「やまの保健室」事業の成果を、技術的な側面やデータ活用の側面からもさらに高度に発展させることが可能となる。

【社会福祉法人 佛子園】

国内において、地方創生の先行事例として、年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず、さまざまな人びとが一緒に暮らせる町づくりに取り組む佛子園との連携から、SDGs プロジェクトで創出されたソリューション等を含め、「白山手取川流域コミュニティ(=白山ソサエティ)」のモデルを、白山市内に点在する地域コミュニティへと展開を図る。佛子園が有するノウハウを共有することで、スピード感をもって展開を図ることが可能となる。

【株式会社 NTT ドコモ (東京都 千代田区)】

金沢工業大学と株式会社 NTT ドコモは、「白山市 IoT 推進ラボ」を推進し、地方創生を実現するにあたっての基本合意書を 2017 年 6 月に締結している。白山市 IoT 推進ラボにおける

4 地方創生・地域活性化への貢献

本市のSDGs未来都市計画は、人口減少や少子高齢化が急速に進む本市山間部において、産学官民が連携し、5G・ICTといった情報通信技術の利活用により社会課題の解決を探るほか、地域の資源を保全・活用しながら、経済の活性化させ、人や企業を呼び寄せる仕組みをつくり、その成果を白山市全体に還元するサイクルを確立を目指すものである。

本計画が実現されることで、山間部の集落機能が保たれ、農地・森林の適切な維持管理を通じて、平野部の災害防止や本市のみならず多くの石川県民の水源の保全にもつながり、山間部の過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を維持することができるとともに、本市が併せ持つ山間部と平野部が共生する互惠関係を構築し、山間部の地域振興に貢献する。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自然の中で生活することや教育をうけることに関心を持つ人が増加している。特に、自然の中でSDGsに関する教育・学習を受けられることに対する他地域の教育機関からの関心は高まっており、修学旅行先としての受け入れ要請等、具体的なニーズが顕在化している。本計画の実現により、本市がこれまで重視し、取り組みを発展してきた自然資産の保全に関する取り組みを、上記のような新たなニーズとうまく合致させることで、都心部とは異なる魅力を際立たせ、更なる地方創生・地域活性化を推進する。

石川県環境総合計画

The Comprehensive Environment Plan of Ishikawa

石川県環境総合計画



石川県環境総合計画
推進キャラクター



再生紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。



石川県生活環境部環境政策課

石川県

石川県



2 地域資源を活用した持続可能な地域づくり

【現状】

- 我々の経済活動や社会活動は、地域の多様な資源の上に成立しています。
地域資源には、地域のエネルギーや自然資源、都市基盤、産業集積等に加え、文化、風土、組織・コミュニティなど様々なものが含まれ、地域が持続可能であるためには、経済活動や社会活動によって、資源の過剰な採取や、環境に負荷のかかる物質の排出をできる限り抑えることが重要です。
- 他方で、近年は、**少子高齢化や人口減少が地域経済の疲弊や里山里海の荒廃による生物多様性の低下にも影響を与えるなど、環境・経済・社会面の課題が相互に関連し、複雑化しています。**
- 国は、**環境政策を通じ、経済・社会に関する諸課題の同時解決を図る手段として、地域循環共生圏を提唱し、その創造を通じて、持続可能な社会の形成を目指すこととしています。**
- 各地域においても、地域資源を活用し、環境に関する課題解決を図りながら、経済・社会面の向上を図る取組の推進が求められています。

【課題】

- 地球温暖化の防止だけでなく、地域の産業振興や災害対策等の課題解決も図る取組として、地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入を推進する必要があります。
- 廃棄物の最終処分量を減少させるだけでなく、循環産業の活性化等も図る取組として、循環資源の活用を促進する必要があります。
- 自然環境を保全するだけでなく、**里山などの資源を活用し、地域の活性化や生業の創出も図る取組を推進する必要があります。**
- 地域内での課題解決にあたって、不足する人材等を他地域から補完するため、都市と農山漁村の交流を促進していく必要があります。

【目指すべき環境の姿】

- 地域資源の有効活用と循環が図られるとともに、他の地域との交流による資源の補完が図られることにより、持続可能な地域づくりが進んでいます。

【取組の方向性】

- 地域のエネルギー・バイオマス資源の活用

【再生可能エネルギー】

- 再生可能エネルギーの導入推進により、温室効果ガスの排出抑制だけでなく、地域の活性化や産業振興・農業振興、災害・防災対策等も図ります。

【食品廃棄物等】

- 食品廃棄物等の排出抑制だけでなく、たい肥化による農業振興やフードバンク・フードドライブの周知による社会貢献も図ります。

【家畜排せつ物】

- 家畜排せつ物をたい肥化し、循環資源としての有効利用を促進することで、家畜排せつ物の管理の適正化による水質汚濁の防止だけでなく、農業振興も図ります。

【木質バイオマス】

- 未利用材の木質バイオマス資源としての有効利用を促進し、健全な森林経営だけでなく、化石燃料からの代替エネルギーの地産地消も図ります。

●地域の自然資源の活用

- 里山里海の豊かな自然を保全するとともに、里山里海における地域資源の魅力発信や生業の創出を図ります。

●都市と農山漁村の交流促進

- 企業やNPO、都市部に住む人々などの多様な主体の参画による里山里海保全活動を促進するとともに、里山里海の地域資源を活用し、スロートゥリズムによる農村地域への誘客を促進します。

【行動目標】

No	指標名	現状	目標値
78 再掲	下水汚泥の有効利用率	54.7 % (平成30年度末)	73 %
79 再掲	捕獲イノシシのジビエ利活用率	7 % (平成30年度)	10 %
80 再掲	スロートゥリズム(農家民宿・レストラン)の年間利用者数	19,180人 (平成30年度末)	20,000人

令和4年8月18日

学校法人金城学園
理事長 加藤 真一 様

白山商工会議所
会頭 高松 喜与志



金城大学「総合政策学部総合経済学科」の新設に関する要望書

白山商工会議所は、地域における商工業の総合的な改善発達を図り、社会一般の福祉の増進に資することを目的として、地域経済社会の総合的な改善発達を図るための諸事業を展開しています。令和2年度には、第4次中期事業計画「for サスティナブル・Hakusan」を策定し、中小零細企業の活性化と地域経済の活力強化のため、健康経営及び産業観光の推進、持続可能な地域社会の創造（SDGs）を目指しています。

近年、地方創生 SDGs の実現と地域経済の持続的発展のためには、中小企業の競争力の維持・向上が求められており、その達成に向けては、「AI や IoT などのデジタル技術活用による DX 推進・生産性向上」、「環境に配慮した活動の促進及びカーボンニュートラルの達成」、「大学等と連携し学生や教員を巻き込んだ商品開発や PR 活動等」が有効であると言えます。しかしながら、当商工会議所会員企業の多くでは、それらの十分な活用や推進が進んでいない現状にあります。この状況を打破するには、多様化する経営の課題解決に向けたデジタル技術活用に対応した人材育成、地域の環境保護に取り組む企業経営の推進、産官学連携による様々な活動の推進、地元大学からの就業率の向上等が必要不可欠と考えます。

こうした状況を踏まえ、当商工会議所は、令和6年4月の金城大学総合政策学部総合経済学科の設置を切に要望いたします。地元白山市の4年制大学として地域に根差した教育経験から、幅広い基礎教養と経済学、経営学を基盤に、これからの社会で求められるカーボンニュートラル等の環境への配慮、健康経営、DX化に対応できる情報リテラシーを有した課題発見・解決力を身につけた人材の養成を期待します。

新学部の設置は、当該分野への進学を希望する高校生が地元の大学に進学できるだけでなく、他の市町や他県からの学生による雇用創出や4年制大学卒業者の地元定着率の向上、更には、大学との協働による教育・研究活動や教職員・学生との接点から生まれる社会的・経済的効果が期待できるとともに、学生が増えることにより賑わいが増加し、地域への活力となり、周辺のまちづくりにも波及して、更なる地域の活性化に繋がります。また、地域産業の振興を担い、社会的な課題解決に貢献できる人材を輩出するなど、地域で様々な視点を持った人材が活躍することが期待されます。

当商工会議所は、貴学園に対し、この取組の実現に向けて早急に取り組まれることを強く要望いたします。

以上

企業 100 社の経営者または人事担当者へのヒアリング結果

1. ヒアリング方法

本学園法人本部企画室室長及び新課程設置プロジェクトチーム事務職員が企業及び自治体を訪問し、経営者、首長または人事部門担当者等から「金城大学総合政策学部で、どのような問題解決と人材養成を望むか」について聴き取り調査を実施した。

2. 期間

令和 4 年 6 月 21 日（火）～令和 4 年 12 月 20 日（火）の間

3. 対象

石川県、富山県所在の企業及び自治体 100 社

4. 結果概要

100 社の聞き取りのうち、重複内容を除く主なヒアリング結果 20 件を以下に記載する。

①企業 A 社（白山市、製造業）

訪問日：6 月 21 日（火）

面談者：代表取締役社長

結 果：白山市内の大学生が増えることは、地域の活性化につながるものであり、ぜひ新学部を設置してもらいたい。業務の効率化、新商品のアイデア考案が当社の課題であり、実習等で学生さんに業務体験、課題発見をしてもらうことで社員にも良い刺激になる。業務改善などに主体的に取り組むことのできる人材養成を期待する。また、ゼミ活動での連携にも期待している。

②自治体 B

訪問日：6 月 22 日（水）

面談者：市長

結 果：定住人口拡大につながる人材教育、育成に期待したい。特に健康への展開に関する教育研究では、既設学部とも連携して健康増進イベント等を開催し、地域をさらに活性化させてほしい。地元の大学が活気あることは、実に喜ばしい。さらに地域に開けた大学として発展されることを願っている。

③商工会議所 C

訪問日：6 月 23 日（木）

面談者：専務理事、事務局次長

結 果：新たに実学を目指した学部の創設を楽しみにしている。地域経済の発展、

そして地域の活性化に大いに寄与するものと期待している。今後もさらに、産学連携が継続して取り組まれることを期待する。また、地元企業への就業率を向上させてほしい。

④企業 D 社（白山市、小売・卸売業）

訪問日：6月24日（金）

面談者：代表取締役社長

結果：インターンシップや実習で現場を体験し、当社の魅力を感じてもらい、人材の確保につながると嬉しい。自ら業務上の課題を発見し、解決策を立案、実践できる人材をぜひ育成してほしい。産学連携で地元白山市を盛り上げていきたい。

⑤企業 E 社（白山市、製造業）

訪問日：6月28日（火）

面談者：総務部人事課課長

結果：貴学の他学部の卒業生が当社の社員として活躍している。とてもコミュニケーション能力が高く、優しく思いやりのある人材で他の社員と連携しながら、業務改善等の提案を取りまとめてくれている。新たに開設される総合政策学部でも、これまで同様に、コミュニケーション能力の高い人材を輩出され、地域貢献されることを期待したい。

⑥企業 F 社（白山市、製造業）

訪問日：6月30日（木）

面談者：代表取締役社長

結果：仕事の内容は人と関わることが大半である。お客様はもとより、社員とのチームワークや他の協力企業との連携によって成り立っている。社会人として企業人として必要なコミュニケーション能力を身につけて欲しい。また、現場では教科書に載っている事例がそのままあるわけではない。寧ろ、その時、場所、状況に応じた対応が求められることが多い。対応能力の高い人材の養成を期待したい。

⑦企業 G 社（白山市、スポーツビジネス業）

訪問日：7月12日（火）

面談者：代表理事

結果：既設の医療健康学部の学生や教員とも連携したイベントを開催しているが、これからのスポーツビジネスには学生の力は必要不可欠である。地域に根差し、健康分野やスポーツビジネスの活動や研究を深めた学生を養成してほしい。金城大学新学部卒業生にぜひ入社してもらい、スポーツを中心と

した地域の活性化に携わってほしい。

⑧企業 H 社（白山市、製造業）

訪問日：7月13日（水）

面談者：管理グループ長

結 果：経済や経営の学問だけでなく、環境システムやグリーンビジネスについてしっかり学修した人材を育成してほしい。当社では、再生可能エネルギーを組み込んだグリーンビジネス分野にも業務展開をしているため、環境分野の知識を得た文系の人材が充実することは、歓迎である。

⑨企業 I 社（富山市、金融・保険業）

訪問日：7月22日（金）

面談者：地域創生部主査

結 果：近年は、地域とともに発展していく銀行となるため、SDGsの実現やDX化の対応に向けた取組に力を入れており、また勤務している行員の充実した生活（Well-being 向上）にも重きを置いている。その点で、金城大学の新学部との方向性がマッチしているため、今後の弊社と学生との連携について大変期待している。

⑩企業 J 社（金沢市、情報通信業）

訪問日：8月22日（月）

面談者：代表取締役社長

結 果：システム開発部門でも、文系出身の社員がプログラミングを勉強してプログラマーとして活躍している。経済系の学生でも、統計やデータ分析、情報リテラシーの基礎知識があることを奨励する。必要なデータを適切に取り扱い、様々なデータを組み合わせて分析する能力がある人材を育ててほしい。

⑪企業 K 社（白山市、小売・卸売業）

訪問日：9月1日（木）

面談者：ゼネラルマネージャー

結 果：是非4年制大学で知識以外にも、「自分ごと」として物事を主体的に捉え「前例踏襲」ではなく新しいことにチャレンジできる積極性のある人材を育成してほしい。課題を与えられるだけではなく、自ら問題解決に向けて取り組む態度を身に付けてほしい。

⑫企業 L 社（小松市、製造業）

訪問日：9月16日（金）

面談者：名誉相談役（前代表取締役社長）

結 果：経済学の土台を備えたうえで、経営学、特にマーケティングに力を入れた教育を実施してほしい。マーケティングを理解し、マーケティングリサーチができないと、商品は売れない。営業部門で、マーケティングを得意とする社員が少ないことが課題である。地域貢献と地域活性化のため、県外出身者ではなく地元出身者の採用を促進していきたい。

⑬企業 M 社（小松市、製造業）

訪問日：10月7日（金）

面談者：取締役常務執行役員

結 果：弊社では、2018年にSDGs宣言を行い、また2021年からは「環境負荷低減」「Well-being向上」に向け、2030年までに達成すべき目標を掲げている。金城大学では企業と連携し、主体的に学ぶ「PBL学修」に力を入れていることから、課題に対して受け身ではなく、自ら考える力をもって主体的に取り組むことのできる人材を輩出してほしい。

⑭企業 N 社（金沢市、対個人サービス業）

訪問日：10月21日（金）

面談者：代表取締役

結 果：知識や技術も大切だが、一番大切なことは人間性である。素直で明るく、意欲的であり、誰とでも良好なコミュニケーションを取れる人材を必要としている。知識やスキルは、入社後に身に付けることができるが、人間性はぜひ、大学4年間の様々な体験の中で育ててほしい。

⑮自治体 O

訪問日：10月24日（月）

面談者：総務部企画財政課課長

結 果：地域の課題解決に取り組む学びには、喜んで協力させてもらいたい。PBL演習のゲストスピーカーには、市長も前向きに検討されると思う。ゼミナール活動では、自治体職員と一緒に地域の課題について、ディスカッションをさせてもらいたい。

⑯企業 P 社（七尾市、製造業）

訪問日：11月22日（火）

面談者：管理部人事労務課長

結 果：当社の喫緊の課題は、若手人材の確保である。七尾市の魅力、当社の魅力を PBL 学修で学生へ伝える機会があれば有難い。石川県外から金城大学へ入学した学生が石川県で就業することも地域活性化に大きく貢献する

ことである。様々な教育や研究の課程で、精神的にたくましく、行動力のある人材を育成してほしい。

⑰企業 Q 社（金沢市、建設業）

訪問日：11月10日（木）

面談者：北陸事業所所長

結 果：経済系の人材は営業職で採用しているが、経済学だけでなく、社会学、健康、そして環境の分野の学びも踏まえた人材は活躍の場が広がると思う。例えば、ユニバーサルデザインは健康や環境の知識も活かせる分野である。学問とは異なるが、コミュニケーション能力は、どの業種でも必要不可欠な能力である。

⑱商工会議所 R

訪問日：11月11日（金）

面談者：専務理事、事務局長

結 果：経済系の学部を新設し、企業や自治体で就業する人材養成を行うことは大変素晴らしい。課題発見・課題解決に向けて主体的に取り組むことのできる人材を育ててほしい。地元には大学はないため、若い世代から地域活性化を展開することが困難な状況であり、大きな課題である。大学と連携して、地域の課題解決に取り組んでいきたい。

⑲企業 S 社（金沢市、製造業）

訪問日：11月24日（木）

面談者：総務部人事課課長

結 果：当社の課題の一つには、健康経営がある。社員の心身の健康は円滑な企業活動の基礎となるものであり、重要視している。経営のみならず、健康の分野の知識やスキルを持った学生をぜひ採用したい。企業と健康をテーマに卒業研究等を行う場合には、当社の社員も一緒に、課題の抽出や課題の解決に向けた取組を行いたい。

⑳企業 T 社（金沢市、広告業）

訪問日：12月20日（火）

面談者：社長室広報部長

結 果：経済学と社会学を組み合わせた教育はとても魅力を感じる。地域や企業の抱える問題は多岐にわたるが、経済学と社会学のスキルを身に付けていると、複数以上の視点から問題を捉える力がつき、問題解決に向けて色々なアプローチができる。これからの時代において、様々な角度から物事を捉えることのできる人材は必ず必要であり、重宝される存在である。

金城大学総合政策学部総合経済学科（仮称）の設置構想に
関するアンケート調査

集 計 結 果

高校生
事業所

令和4年12月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

アンケート調査概要	1
高校生アンケート集計結果	2
高校生アンケート依頼・回答状況	10
高校生アンケート調査票	14
事業所アンケート集計結果	17
事業所アンケート回収・回答状況	24
事業所アンケート調査票	25

アンケート調査概要

1. アンケート調査の目的

金城大学では 2024 年（令和 6 年）4 月に総合政策学部総合経済学科（仮称）の開設を目指す準備を進めており、高校生への入学意向、及び卒業生の採用意向を把握するためにアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「金城大学「総合政策学部総合経済学科」（仮称）の設置構想に関するアンケート」
高校生対象、事業所対象の 2 種類。

3. 調査対象

高校生対象：石川県、富山県、福井県、新潟県、岐阜県、長野県、沖縄県に所在する
高等学校 151 校を選定し、高校 2 年生を対象にアンケート調査を実施した（依頼表は p. 10～p. 13 参照）。

事業所対象：白山商工会議所会員企業 1628 社、連携協定受領企業 71 社の合計 1699 社
を対象にアンケート調査を実施した。

4. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布を大学が行い、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。また、Google Forms を利用した WEB アンケートについては、大学から調査票等をメールにて送付。WEB による回答・集計は一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

5. 調査実施

高校生対象：令和 4 年 9 月～11 月

事業所対象：令和 4 年 7 月～12 月

6. 回収状況

高校生対象：回収校数 125 校

回収率 82.8%（回収高校 125 校／依頼高校 151 校×100）

事業所対象：回収件数 167 社（郵送による回答 129 社＋WEB による回答 38 社）

回収率 9.8%（回収事業所 167 社／依頼事業所 1699 社×100）

高校生アンケート集計結果

[有効回答票：8340 票]

【単純集計】

問1 あなたが、現在住んでいる県・市町村名を記入してください。

回答者の居住地別内訳は、「石川県」が 45.6%で最も多く、次いで「富山県」18.2%、「福井県」10.6%、「新潟県」9.7%、「沖縄県」7.2%などとなっている。

	件数	%
1 石川県	3,799	45.6
2 富山県	1,518	18.2
3 福井県	880	10.6
4 新潟県	806	9.7
5 岐阜県	535	6.4
6 長野県	199	2.4
7 沖縄県	603	7.2
合計	8,340	100.0

問2 あなたは、高校卒業後どのような進路を希望しますか。1つだけ選んでください。

高校卒業後に希望する進路については、「大学進学」が65.0%で最も多く、約3人に2人が大学進学を希望している。大学進学以外では、「専門学校・専修学校に進学」が15.9%、「就職」が12.2%、「短期大学に進学」が4.9%となっている。

	件数	%
1 大学に進学	5,425	65.0
2 短期大学に進学	411	4.9
3 専門学校・専修学校に進学	1,327	15.9
4 就職	1,017	12.2
5 その他	148	1.8
不明	12	0.1
合計	8,340	100.0

※問3は、問2の高校卒業後の希望進路で「大学」、「短期大学」、「専門学校・専修学校」のいずれかを回答した回答者が回答

問3① あなたは、進学先としてどの地域を希望しますか。次の中から第2希望まで選んでください。

進学先として希望する地域の第1希望は「石川県」が30.3%で最も多く、次いで「富山県または福井県」16.2%、「関東」18.6%などとなっている。

第2希望については「富山県または福井県」が22.5%で最も多く、次いで「関東」17.0%、「石川県」16.9%、「近畿」16.4%などとなっている。

	第1希望		第2希望	
	件数	%	件数	%
1 石川県	2,172	30.3	1,208	16.9
2 富山県または福井県	1,157	16.2	1,612	22.5
3 甲信越（山梨、長野、新潟）	535	7.5	442	6.2
4 関東（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬）	1,329	18.6	1,219	17.0
5 東海（愛知、岐阜、三重、静岡）	491	6.9	562	7.8
6 近畿（大阪、京都、奈良、兵庫、滋賀、和歌山）	860	12.0	1,173	16.4
7 北海道・東北	75	1.0	88	1.2
8 中国・四国	49	0.7	115	1.6
9 九州・沖縄	358	5.0	163	2.3
10 その他	46	0.6	168	2.3
不明	91	1.3	413	5.8
合計	7,163	100.0	7,163	100.0

問3② あなたは、どのような学問に興味がありますか。興味がある学問分野を選んでください（複数回答可）。

興味がある学問分野については、「経済学・経営学・商学関係」が28.8%で最も多く、2番目に多い「文学・史学・地理学・心理学関係」の17.2%よりも10ポイント以上多い。3番目に多いのは「教育学関係」の16.8%、その次に多いのは「国際関係学・国際文化学・外国語関係」の13.4%であり、10%以上なのはこの4分野のみである。

	件数	%
1 経済学・経営学・商学関係	2,065	28.8
2 社会学関係	665	9.3
3 法学・政治学関係	591	8.3
4 農林水産学・獣医畜産学関係	163	2.3
5 理学関係(化学、物理関係など)	205	2.9
6 工学関係	454	6.3
7 医歯薬学関係	232	3.2
8 看護学関係	663	9.3
9 保健学関係(理学療法、作業療法など)	592	8.3
10 家政・生活科学関係	336	4.7
11 文学・史学・地理学・心理学関係	1,232	17.2
12 国際関係学・国際文化学・外国語学関係	961	13.4
13 教育学関係	1,201	16.8
14 芸術学関係	693	9.7
15 その他	522	7.3
16 未定	482	6.7
不明	88	1.2
合計	7,163	100.0

※複数回答により合計は100%にならない

(「15 その他」の回答)

内容	件数	内容	件数	内容	件数
IT	1	児童学	1	人間科学関係	1
IT学	1	自動車	4	ネイル、エステティシャン	1
IT系	1	事務、ビジネス	1	農学	1
TSM 専門学校	1	事務系	1	美容	1
アーティスト	1	社会福祉	4	美学、調理	1
家関係	1	社会福祉学系	1	ビジネス	1
イベント制作関係	1	社会福祉学部	1	ビジネス関係	1
イラスト	1	社会福祉心理学	1	美容	53
医療事務	6	宗教、神学	1	美容(エステ)	1
インターネット、IT	1	消防	1	美容、調理	1
ウェディング	1	情報	2	美容、ファッション	1
ウェディング、ブライダル	1	情報科学	1	美容、服	1
栄養	5	情報学関係	2	美容、ブライダル	2

内容	件数	内容	件数	内容	件数
栄養学	8	情報関係	5	美容、マッサージなど	1
栄養学関係	2	情報処理	1	美容、理容	5
栄養学科	1	食品科学	1	美容係	1
栄養関係	4	食品関連	1	美容学	1
栄養系	1	食物栄養	1	美容学科	1
エステ、メイク	1	心理学	1	美容関係	23
演劇	1	スポーツ	23	美容関連	1
エンタメ	1	スポーツ、健康	1	美容系	15
音楽	3	スポーツ科	1	美容師	1
音楽関係	3	スポーツ科学	1	美容師科	1
会計	1	スポーツ学	3	美容理容	2
介護	1	スポーツ関係	3	表現学	1
介護、福祉	1	スポーツ系	3	福祉	4
介護学	1	スポーツ系統	1	福祉学	1
介護福祉	1	スポーツ健康学	1	福祉関係	2
海自	1	製菓	11	服飾	2
金沢文化服飾学院	1	製菓、調理	3	服飾関係	3
環境デザイン	1	生物	1	ブライダル	13
環境に関する	1	生物学	1	ブライダル、観光	1
観光	4	声優	1	ブライダル、美容	1
観光学	6	操縦（パイロット）	1	ブライダル関係	1
観光学関係	1	操縦科	2	ブライダル系	1
観光系	1	体育	4	プログラミング	2
管理栄養	1	体育、スポーツ	2	ペット	6
キャビンアテンダント	1	体育関係	1	ペット関係（トリマー）	1
教養学	1	体育系	4	ペット系	1
警察官	1	体育的なこと	1	保育	6
芸能活動	1	地域政策	1	保育関係	2
ゲーム、CG	1	地域創生学	1	保育系	1
健康、スポーツ	1	調理	6	保育士	1
建設	1	調理、美容	1	放射線診療技師	1
建築	2	調理系	1	ホテル	1
建築学	1	調理系、栄養学科	1	ホテル・ブライダル専門学校	1
建築関係	1	調理師	1	マスコミ学	2
航空関係	1	デザイン	2	メイク系	1
工業	1	デザイン、広告系	1	メディア関係	1
航空	1	哲学	1	薬学	3
航空関係	6	電気工事、自衛官	1	幼児教育	1
航空業界	1	動物愛護	1	ライブ関係	1
航空系	1	動物関係	1	理学療法士	1
航空自衛隊	1	動物看護	1	理美容	3
交通	1	動物系	3	理容、美容系	1
公務員	3	動物飼育関係	1	理容美容	2
コンピューター	1	トリマー	1	理容美容関係	1
飼育員	1	トリマー、動物看護	1	料理	2
司書の資格が取れる。	1	人間科学	1	料理系	1

問3③ 金城大学「総合政策学部 総合経済学科」（仮称、設置構想中）を受験したいと
 思いますか。

「受験したい」と回答したのは210人であり、回答者の2.9%である。また、「受験を
 検討したい」と回答したのは1,275人（17.8%）、「受験したくない」は5,600人
 （78.2%）となっている。

	件数	%
1 受験したい	210	2.9
2 受験を検討したい	1,275	17.8
3 受験したくない	5,600	78.2
不明	78	1.1
合計	7,163	100.0

問3④ 金城大学「総合政策学部 総合経済学科」（仮称、設置構想中）に進学したいと
 思いますか。

「進学したい」と回答したのは218人であり、回答者の3.0%である。また、「併願先
 の結果によっては進学したい」と回答したのは1,338人（18.7%）であることから、こ
 れらを合計すると、進学の可能性のあるのは最大で1,556人（21.7%）と考えられる。

	件数	%
1 進学したい	218	3.0
2 併願先の結果によっては進学したい	1,338	18.7
3 進学したくない	5,522	77.1
不明	85	1.2
合計	7,163	100.0

問4 次の資格等の中に、あなたが目指したいと思うものがあれば、選んでください（複数回答可）。

目指したい資格等については、「公務員」が30.9%で最も多く、回答者の3割は公務員への関心が高いと考えられる。そのほか、「日商簿記検定」が7.8%、「基本情報技術者」が5.3%などとなっている。

	件数	%
1 ファイナンシャルプランニング技能士	215	2.6
2 中小企業診断士	145	1.7
3 宅地建物取引士	164	2.0
4 公務員	2,581	30.9
5 ITパスポート	316	3.8
6 基本情報技術者	442	5.3
7 MOS（マイクロソフト オフィス スペシャリスト）	289	3.5
8 税理士	374	4.5
9 公認会計士	386	4.6
10 日商簿記検定	653	7.8
不明	4,096	49.1
合 計	8,340	100.0

※複数回答により合計は100%にならない

【クロス集計】

- 大学進学希望者うち興味がある学問分野として「経済学・経営学・商学関係」と回答した回答者（問2×問3②）

高校卒業後の希望進路で「大学に進学」と回答した回答者（以下、「大学進学希望者」という。）5,425人について、興味のある学問分野として総合経済学科の学問分野である「経済学・経営学・商学関係」と回答したのは、1,863人（34.3%）であった。

	件数	%
1 経済学・経営学・商学関係	1,863	34.3
2 社会学関係	620	11.4
3 法学・政治学関係	556	10.2
4 農林水産学・獣医畜産学関係	113	2.1
5 理学関係(化学、物理関係など)	190	3.5
6 工学関係	348	6.4
7 医歯薬学関係	148	2.7
8 看護学関係	467	8.6
9 保健学関係(理学療法、作業療法など)	445	8.2
10 家政・生活科学関係	222	4.1
11 文学・史学・地理学・心理学関係	1,127	20.8
12 国際関係学・国際文化学・外国語学関係	866	16.0
13 教育学関係	960	17.7
14 芸術学関係	460	8.5
15 その他	166	3.1
16 未定	284	5.2
不明	46	0.8
合計	5,425	100.0

※複数回答により合計は100%にならない

○ 大学進学希望者で経済学・経営学・商学関係に興味がある回答者の総合経済学科受験意向（問2×問3②×問3③）

大学進学希望者で「経済学・経営学・商学関係」に興味がある 1,863 人について、総合経済学科を「受験したい」と回答したのは 165 人（8.9%）、「受験を検討したい」と回答したのは 592 人（31.8%）であり、合計すると 757 人（40.6%）が総合経済学科の受験に関心を示している。

	件数	%
1 受験したい	165	8.9
2 受験を検討したい	592	31.8
3 受験したくない	1,105	59.2
不明	1	0.1
合計	1,869	100.0

○ 大学進学希望者で経済学・経営学・商学関係に興味がありかつ総合経済学科の受験を希望する回答者の総合経済学科進学意向（問2×問3②×問3③×問3④）

大学進学希望者で「経済学・経営学・商学関係」に興味があり、かつ総合経済学科を「受験したい」と回答した回答者 165 人について、総合経済学科に「進学したい」と回答したのは 151 人（91.5%）、「併願先の結果によっては進学したい」と回答したのは 14 人（8.5%）である。

また、大学進学希望者で「経済学・経営学・商学関係」に興味があり、かつ「受験を検討したい」と回答した 592 人について、総合経済学科に「進学したい」と回答したのは 14 人（2.4%）、「併願先の結果によっては進学したい」と回答したのは 517 人（87.3%）である。

	受験したい		受験を検討したい	
	件数	%	件数	%
1 進学したい	151	91.5	14	2.4
2 併願先の結果によっては進学したい	14	8.5	517	87.3
3 進学したくない	0	0.0	61	10.3
不明	0	0.0	0	0.0
合計	175	100.0	592	100.0

高校生アンケート依頼・回答状況

(高校生) アンケート調査 : 8340 票 (WEB アンケート 2 校含む)

回答日	回答校数	累 計	回答日	回答校数	累 計
8/29	5	369	9/20	9	484
8/30	3	192	9/22	3	156
8/31	4	451	9/26	2	100
9/1	1	58	9/27	1	46
9/2	8	362	9/28	1	62
9/5	12	839	9/29	1	39
9/6	7	331	9/30	1	32
9/7	3	208	10/3	1	34
9/8	7	454	10/5	1	212
9/9	4	363	10/6	1	77
9/12	5	421	10/7	1	25
9/13	13	863	10/12	2	257
9/14	9	421	10/26	1	147
9/15	8	459	11/11	1	71
9/16	9	638	11/28	1	169

高校生アンケート調査 依頼表

県 No.	都道府県名	高校 No.	設置区分	学校名	備考
1	石川県	1	県立	石川県立飯田高等学校	
1	石川県	2	県立	石川県立能登高等学校	
1	石川県	3	私立	日本航空高等学校石川	
1	石川県	4	県立	石川県立輪島高等学校	
1	石川県	5	県立	石川県立門前高等学校	
1	石川県	6	県立	石川県立穴水高等学校	
1	石川県	7	県立	石川県立志賀高等学校	
1	石川県	8	県立	石川県立田鶴浜高等学校	
1	石川県	9	私立	鵬学園高等学校	
1	石川県	10	県立	石川県立七尾東雲高等学校	
1	石川県	11	県立	石川県立七尾高等学校	
1	石川県	12	県立	石川県立鹿西高等学校	
1	石川県	13	県立	石川県立羽咋高等学校	
1	石川県	14	県立	石川県立羽咋工業高等学校	
1	石川県	15	県立	石川県立宝達高等学校	
1	石川県	16	県立	石川県立津幡高等学校	
1	石川県	17	県立	石川県立内灘高等学校	
1	石川県	18	県立	石川県立金沢向陽高等学校	
1	石川県	19	県立	石川県立金沢北陵高等学校	
1	石川県	20	私立	星稜高等学校	
1	石川県	21	県立	石川県立金沢桜丘高等学校	
1	石川県	22	県立	石川県立金沢西高等学校	WEB
1	石川県	23	市立	金沢市立工業高等学校	

県 No.	都道 府県名	高校 No.	設置 区分	学校名	備考
1	石川県	24	私立	北陸学院高等学校	
1	石川県	25	県立	石川県立金沢商業高等学校	
1	石川県	26	県立	石川県立工業高等学校	
1	石川県	27	私立	遊学館高等学校	
1	石川県	28	私立	金沢学院大学附属高等学校	
1	石川県	29	県立	石川県立金沢辰巳丘高等学校	
1	石川県	30	県立	石川県立金沢二水高等学校	
1	石川県	31	県立	石川県立金沢泉丘高等学校	
1	石川県	32	県立	石川県立金沢錦丘高等学校	
1	石川県	33	私立	金沢高等学校	
1	石川県	34	県立	石川県立金沢伏見高等学校	
1	石川県	35	私立	金沢龍谷高等学校	
1	石川県	36	県立	石川県立野々市明倫高等学校	
1	石川県	37	県立	石川県立鶴来高等学校	
1	石川県	38	県立	石川県立翠星高等学校	
1	石川県	39	県立	石川県立松任高等学校	
1	石川県	40	県立	石川県立寺井高等学校	
1	石川県	41	県立	石川県立小松明峰高等学校	
1	石川県	42	県立	石川県立小松北高等学校	
1	石川県	43	市立	小松市立高等学校	
1	石川県	44	県立	石川県立小松商業高等学校	
1	石川県	45	県立	石川県立小松工業高等学校	
1	石川県	46	私立	小松大谷高等学校	
1	石川県	47	県立	石川県立大聖寺実業高等学校	
1	石川県	48	県立	石川県立大聖寺高等学校	
1	石川県	49	県立	石川県立加賀高等学校	
2	富山県	50	県立	富山県立入善高等学校	
2	富山県	51	県立	富山県立桜井高等学校	
2	富山県	52	県立	富山県立魚津高等学校	
2	富山県	53	県立	富山県立魚津工業高等学校	
2	富山県	54	私立	新川高等学校	
2	富山県	55	県立	富山県立滑川高等学校	
2	富山県	56	県立	富山県立上市高等学校	
2	富山県	57	県立	富山県立雄山高等学校	
2	富山県	58	県立	富山県立富山東高等学校	
2	富山県	59	県立	富山県立富山北部高等学校	
2	富山県	60	私立	富山第一高等学校	
2	富山県	61	私立	不二越工業高等学校	
2	富山県	62	私立	高朋高等学校	
2	富山県	63	県立	富山県立中央農業高等学校	
2	富山県	64	私立	片山学園高等学校	
2	富山県	65	県立	富山県立富山南高等学校	
2	富山県	66	県立	富山県立富山いずみ高等学校	
2	富山県	67	県立	富山県立富山高等学校	
2	富山県	68	県立	富山県立富山工業高等学校	

県 No.	都道 府県名	高校 No.	設置 区分	学校名	備考
2	富山県	69	県立	富山県立富山商業高等学校	
2	富山県	70	私立	龍谷富山高等学校	
2	富山県	71	県立	富山県立富山西高等学校	
2	富山県	72	県立	富山県立八尾高等学校	
2	富山県	73	県立	富山県立呉羽高等学校	
2	富山県	74	私立	富山国際大学付属高等学校	
2	富山県	75	県立	富山県立小杉高等学校	
2	富山県	76	県立	富山県立大門高等学校	
2	富山県	77	県立	富山県立新湊高等学校	
2	富山県	78	県立	富山県立伏木高等学校	
2	富山県	79	県立	富山県立氷見高等学校	
2	富山県	80	私立	高岡向陵高等学校	
2	富山県	81	県立	富山県立高岡工芸高等学校	
2	富山県	82	私立	高岡龍谷高等学校	
2	富山県	83	県立	富山県立高岡商業高等学校	
2	富山県	84	私立	高岡第一高等学校	
2	富山県	85	県立	富山県立志貴野高等学校	
2	富山県	86	県立	富山県立高岡南高等学校	
2	富山県	87	県立	富山県立福岡高等学校	
2	富山県	88	県立	富山県立砺波高等学校	WEB
2	富山県	89	県立	富山県立砺波工業高等学校	
2	富山県	90	県立	富山県立南砺福野高等学校	
2	富山県	91	県立	富山県立南砺平高等学校	
2	富山県	92	県立	富山県立石動高等学校	
3	福井県	93	県立	福井県立金津高等学校	
3	福井県	94	県立	福井県立丸岡高等学校	
3	福井県	95	県立	福井県立坂井高等学校	
3	福井県	96	県立	福井県立三国高等学校	
3	福井県	97	県立	福井県立勝山高等学校	
3	福井県	98	県立	福井県立大野高等学校	
3	福井県	99	県立	福井県立奥越明成高等学校	
3	福井県	100	県立	福井県立羽水高等学校	
3	福井県	101	私立	福井工業大学附属福井高等学校	
3	福井県	102	県立	福井県立福井商業高等学校	
3	福井県	103	県立	福井県立福井農林高等学校	
3	福井県	104	私立	北陸高等学校	
3	福井県	105	私立	啓新高等学校	
3	福井県	106	私立	仁愛女子高等学校	
3	福井県	107	県立	福井県立科学技術高等学校	
3	福井県	108	私立	福井南高等学校	
3	福井県	109	県立	福井県立足羽高等学校	
		110		欠番 1	
3	福井県	111	県立	福井県立鯖江高等学校	
3	福井県	112	県立	福井県立丹生高等学校	
3	福井県	113	県立	福井県立武生商工高等学校	
3	福井県	114	県立	福井県立武生高等学校	

県 No.	都道 府県名	高校 No.	設置 区分	学校名	備考
3	福井県	115	県立	福井県立武生東高等学校	
3	福井県	116	私立	敦賀気比高等学校	
3	福井県	117	県立	福井県立敦賀高等学校	
3	福井県	118	県立	福井県立美方高等学校	
3	福井県	119	県立	福井県立若狭東高等学校	
3	福井県	120	県立	福井県立若狭高等学校	
4	新潟県	121	県立	新潟県立柏崎高等学校	
4	新潟県	122	県立	新潟県立柏崎常盤高等学校	
4	新潟県	123	県立	新潟県立高田高等学校	
4	新潟県	124	県立	新潟県立高田北城高等学校	
4	新潟県	125	県立	新潟県立高田商業高等学校	
4	新潟県	126	県立	新潟県立新井高等学校	
4	新潟県	127	県立	新潟県立糸魚川高等学校	
4	新潟県	128	県立	新潟県立糸魚川白嶺高等学校	
4	新潟県	129	私立	上越高等学校	
4	新潟県	130	県立	新潟県立直江津中等教育学校	
4	新潟県	131	私立	関根学園高等学校	
5	岐阜県	132	県立	岐阜県立益田清風高等学校	
5	岐阜県	133	県立	岐阜県立斐太高等学校	
5	岐阜県	134	県立	岐阜県立飛騨高山高等学校	
5	岐阜県	135	県立	岐阜県立高山工業高等学校	
5	岐阜県	136	県立	岐阜県立吉城高等学校	
5	岐阜県	137	私立	高山西高等学校	
5	岐阜県	138	県立	岐阜県立飛騨神岡高等学校	
6	長野県	139	県立	長野県長野西高等学校	
6	長野県	140	県立	長野県長野吉田高等学校	
7	沖縄県	141	県立	沖縄県立名護高等学校	
7	沖縄県	142	県立	沖縄県立与勝高等学校	
7	沖縄県	143	県立	沖縄県立糸満高等学校	
7	沖縄県	144	県立	沖縄県立北谷高等学校	
7	沖縄県	145	県立	沖縄県立沖縄工業高等学校	
7	沖縄県	146	県立	沖縄県立豊見城高等学校	
7	沖縄県	147	県立	沖縄県立南部農林高等学校	
		148		欠番 2	
		149		欠番 3	
7	沖縄県	150	県立	沖縄県立浦添高等学校	
		151		欠番 4	
		152		欠番 5	
		153		欠番 6	
		154		欠番 7	
7	沖縄県	155	県立	沖縄県立中部商業高等学校	
		156		欠番 8	
7	沖縄県	157	県立	沖縄県立那覇高等学校	
7	沖縄県	158	県立	沖縄県立向陽高等学校	
7	沖縄県	159	県立	沖縄県立読谷高等学校	

金城大学「総合政策学部 総合経済学科」（仮称）の設置構想に関するアンケート

金城大学では、地域の企業・団体・行政と密接に連携しながら、賑わいと活力がみなぎるまちづくりと地域経済の活性化に貢献できる人材を養成するため、**2024年4月を目標として、『総合政策学部 総合経済学科（仮称）』の新設**を構想しております。

このアンケートは、高校生の皆様の進路選択に対する考え方などをお伺いし、金城大学の新学部設置構想の参考資料とさせていただくものです。本アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

<総合政策学部 総合経済学科（仮称）の概要>

1. 入学定員（予定）150人
2. 開学時期（予定）2024年4月1日
3. 設置場所（予定）本学笠間キャンパス（石川県白山市笠間町1200）
4. 学費【年額】（予定）

（単位 円）

	入学金	授業料	教育充実費	実習費	合計
1年次	200,000	680,000	320,000	0	1,200,000
2～4年次	-	680,000	320,000	0	1,000,000

※成績優秀者奨学生制度を導入します（総合政策学部：年間授業料（68万円）の全額免除）。

※参考 本学人間社会科学部部の学費【年額】1年次1,170,000円 2・3年次1,030,000円 4年次970,000円
 本学医療健康学部の学費【年額】1年次1,680,000円 2年次以降1,530,000円
 本学看護学部の学費【年額】1年次1,630,000円 2年次1,430,000円 3・4年次1,480,000円

5. 同様の学位分野を授与する近隣の他大学
 金沢星稜大学経済学部経済学科・経営学科 / 北陸大学経済経営学部マネジメント学科 /
 金沢学院大学経済学部経済学科・経営学科

◆回答は、設問の右の回答欄（□）に、該当する番号等を記入してください。

【回答欄】

問1 あなたが、現在住んでいる県・市町村名を記入してください。

県	市・町・村
---	-------

問2 あなたは、高校卒業後どのような進路を希望しますか。1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 大学に進学 | 4. 就職 |
| 2. 短期大学に進学 | 5. その他 |
| 3. 専門学校・専修学校に進学 | |

<裏面へ進んでください>

問3 問2で1, 2, 3の「進学」を希望する方にお尋ねします。それ以外の方は問4へ進んでください。

① あなたは、進学先としてどの地域を希望しますか。次の中から第2希望まで選んでください。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 石川県 | 6. 近畿 (大阪、京都、奈良、兵庫、滋賀、和歌山) |
| 2. 富山県または福井県 | 7. 北海道・東北 |
| 3. 甲信越 (山梨、長野、新潟) | 8. 中国・四国 |
| 4. 関東 (東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬) | 9. 九州・沖縄 |
| 5. 東海 (愛知、岐阜、三重、静岡) | 10. その他 |

第1希望

第2希望

② あなたは、どのような学問に興味がありますか。興味がある学問分野を選んでください(複数回答可)。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 経済学・経営学・商学関係 | 9. 保健学関係(理学療法、作業療法など) |
| 2. 社会学関係 | 10. 家政・生活科学関係 |
| 3. 法学・政治学関係 | 11. 文学・史学・地理学・心理学関係 |
| 4. 農林水産学・獣医畜産学関係 | 12. 国際関係学・国際文化学・外国語学関係 |
| 5. 理学関係(化学、物理関係など) | 13. 教育学関係 |
| 6. 工学関係 | 14. 芸術学関係 |
| 7. 医歯薬学関係 | 15. その他(具体的に) |
| 8. 看護学関係 | 16. 未定 |

③ 金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を受験したいと思いますか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 受験したい | 3. 受験したくない |
| 2. 受験を検討したい | |

④ 金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)に進学したいと思いますか。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 進学したい | 3. 進学したくない |
| 2. 併願先の結果によっては進学したい | |

問4 次の資格等の中に、あなたが目指したいと思うものがあれば、選んでください(複数回答可)。

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. ファイナンシャルプランニング技能士 | 6. 基本情報技術者 |
| 2. 中小企業診断士 | 7. MOS (マイクロソフト オフィス スペシャリスト) |
| 3. 宅地建物取引士 | 8. 税理士 |
| 4. 公務員 | 9. 公認会計士 |
| 5. ITパスポート | 10. 日商簿記検定 |

<これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。>

金城の「総合経済」はおもしろい。

データサイエンスなどを駆使した課題解決力を地域経済に応用し、「持続可能な経済発展」を実現する総合的なカリキュラム。あらゆる企業で期待され活躍できる人材を養成。



総合政策学部 総合経済学科 (仮称)

2024(令和6)年4月 開設予定(設置構想中) 予定であり、内容は変更となる場合があります

入学定員
150人
(予定)

環境・健康分野等の
アプローチから
地域の総合的な
経済発展を学ぶ

POINT 1

全国の私立大学で最大規模の連携企業数!
「連携企業75社」との実践的な
演習とインターンシップで
在学中から
企業とつながる

POINT 2

充実の公務員養成
プログラム、
資格対策講座等を
開講

POINT 3

金城大学 総合政策学部 総合経済学科(仮称) 学びのイメージ

経済学 経営学

- SDGs
- 地域経済
- 地域ブランド
- ベンチャービジネス
- ビジネス
イノベーション

社会学

環境への展開

- カーボンニュートラル
- ビオトープ
- 環境マネジメント

健康への展開

- 健康増進
- QOL
- アンチエイジング

情報リテラシー

- データサイエンス ●AI
- IoT ●DX ●ビッグデータ

連携企業での実践

- 連携企業75社とPBL(課題解決型)学修、
インターンシップ



金城大学

金城大学 新課程設置プロジェクト

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200

TEL/076-276-4400(代表) FAX/076-275-4316

E-mail/hops@kinjo.ac.jp https://www.kinjo.ac.jp/ku/

人間社会 科学部

社会福祉学科
子ども教育保育学科*

医療健康 学部

理学療法学科
作業療法学科

看護学部 看護学科

公衆衛生看護学専攻科

大学院(総合リハビリテーション学研究所)

事業所アンケート集計結果

[有効回答票：167票]

問1 貴社・貴団体の業種について、該当する番号を1つお選びください。

回答事業所の業種別内訳は、「製造業」が28.7%で最も多く、次いで「建設業」12.6%、「卸売業」、「小売業」、「対事業所サービス業」がいずれも6.6%などとなっている。

	件数	%
1 農林漁業・鉱業	2	1.2
2 建設業	21	12.6
3 製造業	48	28.7
4 電気・ガス・熱供給・水道業	3	1.8
5 情報通信業	9	5.4
6 運輸業	3	1.8
7 卸売業	11	6.6
8 小売業	11	6.6
9 金融・保険業	8	4.8
10 不動産業	5	3.0
11 広告出版業	2	1.2
12 飲食サービス業	5	3.0
13 宿泊業	2	1.2
14 医療・福祉業	6	3.6
15 対個人サービス業	3	1.8
16 対事業所サービス業	11	6.6
17 その他	17	10.2
合計	167	100.0

(「17 その他」の回答)

内容	件数	内容	件数	内容	件数
イベントの企画運営	1	警備業	1	サービス業	1
官公庁	2	建設業、運輸業	1	測量、設計コンサル	1
教育業	1	建設コンサルタント	1	ビル管理業	1
経済団体	1	公務	1	翻訳、通訳	1

問2 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、ご回答ください。

回答事業所の所在地は、「石川県内で白山市外」が 44.9%、「石川県白山市」が 44.3%であり、約9割が石川県内の事業所となっている。

	件数	%
1 石川県白山市	74	44.3
2 石川県内で白山市外	75	44.9
3 富山県内	7	4.2
4 福井県内	1	0.6
5 北陸三県外	10	6.0
合計	167	100.0

問3 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。支社、支店、営業所、出張所等で本アンケート用紙を受取られた場合は、当該支社、支店、営業所、出張所等の従業員数について、ご回答ください。

回答事業所の従業員数は、「10人以上50人未満」が 26.3%で最も多く、次いで「10人未満」20.4%、「500人以上」15.6%、「200人以上500人未満」15.0%、「50人以上100人未満」13.2%、「100人以上200人未満」9.6%となっている。

	件数	%
1 10人未満	34	20.4
2 10人以上50人未満	44	26.3
3 50人以上100人未満	22	13.2
4 100人以上200人未満	16	9.6
5 200人以上500人未満	25	15.0
6 500人以上	26	15.6
合計	167	100.0

問4 貴社・貴団体の過去3か年の新卒正規社員の採用数について、お教えてください。支社、支店、営業所、出張所等で本アンケート用紙を受取られた場合は、当該支社、支店、営業所、出張所等について、ご回答ください。

過去3か年の新卒正社員の採用動向を見ると、毎年約6割の事業所が新卒正社員を採用している。採用者数としては、「1人」や「2人」あるいは「6人～10人」を採用している事業所が比較的多いが、「101人以上」や「51人～100人」など大規模に採用している事業所も毎年数社ある。また、毎年約5割の事業所が4年制大学卒業者を採用しており、

	2020年度				2021年度				2022年度			
	新卒採用者数		うち4年制大学卒者数		新卒採用者数		うち4年制大学卒者数		新卒採用者数		うち4年制大学卒者数	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1 0人	59	35.3	52	31.1	64	38.3	66	39.5	61	36.5	51	30.5
2 1人	13	7.8	18	10.8	23	13.8	10	6.0	22	13.2	26	15.6
3 2人	13	7.8	18	10.8	12	7.2	12	7.2	14	8.4	7	4.2
4 3人	13	7.8	8	4.8	8	4.8	9	5.4	9	5.4	12	7.2
5 4人	3	1.8	11	6.6	2	1.2	6	3.6	7	4.2	6	3.6
6 5人	8	4.8	3	1.8	5	3.0	4	2.4	4	2.4	5	3.0
7 6人～10人	18	10.8	14	8.4	19	11.4	17	10.2	18	10.8	15	9.0
8 11人～20人	19	11.4	6	3.6	15	9.0	6	3.6	17	10.2	7	4.2
9 21人～50人	11	6.6	7	4.2	11	6.6	9	5.4	9	5.4	7	4.2
10 51人～100人	4	2.4	1	0.6	5	3.0	1	0.6	4	2.4	2	1.2
11 101人以上	1	0.6	1	0.6	1	0.6	1	0.6	1	0.6	1	0.6
不明	5	3.0	28	16.8	2	1.2	26	15.6	1	0.6	28	16.8
合計	167	100.0	167	100.0	167	100.0	167	100.0	167	100.0	167	100.0

問5 貴社・貴団体の2023年度の新規大卒者の採用予定数は、2022年度と比較していかがですか。

支社、支店、営業所、出張所等で本アンケート用紙を受取られた場合は、当該支社、支店、営業所、出張所等について、ご回答ください。

2023年度の新規大卒者の採用予定数は、「増加する」と回答した事業所が32.9%で最も多く、約3分の1の事業所が新規大卒者の採用を増やすとしている。また、「前年度並み」が28.7%であり、「減少する」は8.4%、「採用予定なし」は16.8%となっている。

	件数	%
1 増加する	55	32.9
2 前年度並み	48	28.7
3 減少する	14	8.4
4 採用予定なし	28	16.8
5 未定	22	13.2
合計	167	100.0

(2024年4月開設を目指す金城大学「総合政策学部 総合経済学科」について)

問6 金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)には別紙のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、この特色はどの程度魅力に感じますか。

総合経済学科の特色について「とても魅力を感じる」と回答した事業所が52.1%で最も多く、半数以上の事業所が回答している。また、「ある程度魅力を感じる」との回答は35.3%であることから、これらを合わせると87.4%の事業所が総合経済学科の特色に魅力を感じている。

	件数	%
1 とても魅力を感じる	87	52.1
2 ある程度魅力を感じる	59	35.3
3 あまり魅力を感じない	17	10.2
4 まったく魅力を感じない	2	1.2
不明	2	1.2
合計	167	100.0

問7 貴社・貴団体では、金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。

総合経済学科卒業生の採用意向を見ると、「採用したい」が55.7%で最も多く、半数以上の事業所が総合経済学科卒業生の採用を希望している。また、「採用を検討したい」は27.5%となっている。

	件数	%
1 採用したい	93	55.7
2 採用を検討したい	46	27.5
3 採用したいと思わない	24	14.4
不明	4	2.4
合計	167	100.0

問8 上記問7で、「1. 採用したい」または「2. 採用を検討したい」を選択された方にお尋ねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。なお、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

総合経済学科卒業生を「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した事業所における毎年の採用人数については、「採用したい」事業所では「2人」が40.9%で最も多く、次いで「1人」32.3%であり、1人あるいは2人の採用を想定している事業所が多いが、「5人」、「6人以上」という事業所もそれぞれ4件（4.3%）の回答がある。「採用を検討したい」事業所では、「1人」が52.2%で最も多く、「その他（欠員の場合採用する等）」が30.4%となっている。

「採用したい」と回答した事業所の回答結果に基づき、総合経済学科卒業生の毎年の採用人数を計算すると、毎年200人の採用が想定される。

	採用したい		採用を検討する	
	件数	%	件数	%
1 1人	30	32.3	24	52.2
2 2人	38	40.9	5	10.9
3 3人	14	15.1	0	0.0
4 4人	2	2.2	2	4.3
5 5人	4	4.3	0	0.0
6 6人以上	4	4.3	0	0.0
7 その他 (欠員の場合採用する等)	1	1.1	14	30.4
不明	0	0.0	1	2.2
合計	93	100.0	46	100.0

「採用したい」と回答した事業所の回答に基づく採用人数

	件数	採用人数
1人	30	30人
2人	38	76人
3人	14	42人
4人	2	8人
5人	4	20人
6人以上	4	24人※
合計	92	200人

※採用人数を6人として計算。

(「7 その他」の回答)

欠員の場合に採用する。
1ないし2を採用し育成できればと考える。
その年度の採用計画による。
不定期。
毎年ではなく、あと1名だけ欲しい。
欠員の場合に採用する。
試験採用であり学校限定は困難。
人物重視で採用を行っているため具体的人数は答えかねる。
未定。
不定期の採用ですが検討したいです。
ご応募があれば（マイナビでの募集のみ）。
人物次第。
現時点では不明となります。申し訳ございません。

問9 2024年4月開設予定の金城大学「総合政策学部 総合経済学科」（仮称、設置構想中）について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

自由回答意見
弊社は電気やシステムを取り扱っており、採用については、理系学生が中心となっております。経済学部や法学部等の文系学生については営業職の採用が中心となります。
総合経済学科の新設とても素晴らしいと思います。昔の経済学科（マル経やケインズなどの経済史や古い政策が多かった）と違い、最近の総合経済(科学的見地や情報システム・工学や世界経済、金融、環境・社会学)の学びを経済学生は地域社会にとっても貴重で力強い戦力となるでしょう。
最近の学生の親世代を雇用していると思う事は、言われなければ何も行動できない。言葉の背景をマイナスに想う事はできてもそのまま、もしくはポジティブにとらえる事が苦手な方が増えているのではないのでしょうか？その現状から思うに、社会に適應する育成期間が必要に思います。その期間が大学だったのでは？と自分は思いますので、是非大学で学生が勉強以外で一人ひとりが大人と個別に、時間を過ごせる様に子供だけで固まらない様に導いてあげて下さい。
AI や M&A に特化した学部の方が魅力を感じる。
問7で採用したいと思わないまではいかないが、検討もまだ未定な状態です。
転職を拒まず地元意識よりグローバルな人材育成をお願いしたい。
機械加工の世界でも学ばれたことをいかして頂きたい。
物流に関するゼミ等をお願いしたい。
当社は技術系採用を強化したい為、当面採用については考えておりません。
実際の商いを理解することが大事。商いの形式でなく、おこる（発生）する要因というものの理解が必要。
地元に着した学部創設に対して大いに期待しています。
是非設置していただきたい。地域活性化のために必要だと思います。
早いうちに構想などの詳細がわかるとありがたい。
できる限り県外より人材を集め、県内の企業等で活躍される人財を輩出頂きたいと思います。
地域経済に役立つ人材育成を期待します。
白山市の定住人口拡大につながる人材教育、育成に期待したい。
地元の大学が活気あることは、実に喜ばしいと思います。さらに充実した学舎となりますことを心より祈念いたしています。
白山市の活性化に大いに寄与するものと期待しています。
とても面白そうな学科だと感じました。
新たに実学を目指した学部の創設楽しみです。
詳しい内容がもっとわかりやすいと良いと思いました。
地元企業として地域の活性化につながると大いに期待しております。又、弊社社員の子女も少なからず在籍しており、ますます幅広く選択肢が増える事は親世代からは歓迎するところです。
地元出身の学生の方に是非入社していただきたい。
当社の近郊に総合的な4大学部ができることに、大いに期待しています。
期待しています。
中小企業にとって、新入社員採用のチャンネルが増すことはとても良いと思える。
県外就職希望者の割合をみて検討したいと思います。
日本経済を担うには、若い人の前向きな考え方が必要となる時代が来る。その時を備えよ！
IT人材の育成に期待しています。
地域経済との関わりを重視しながら人材を養成していく姿勢を楽しみにしている。
新学部設置に関する情報発信が充実し、産学連携が継続して取り組まれることを期待する。

自由回答意見

コミュニケーション能力に基づく主体的な課題発見と課題解決能力の育成を情報リテラシーや社会学の調査方法の習得と共に進める点はとても興味があります。今後ますます進む ICT 化社会に適応する人材の育成に必須と考えます。

選択肢が増えることはいいと思います。いろんな経験をさせてあげてほしいです。

インターンシップを通して実務経験があり、データを正しく扱うことができる人材は今後の地方中小零細企業においてとても貴重な人材になると期待しております。

新しい学部ができることで、白山市が賑わうと思いますので、期待しております。

企業サイドと連携をとった実習、PBL演習は入社後のミスマッチを防ぐ他、産業振興や地域活性化等、目標を持った就職に繋がります。賃金や福利厚生面ばかりに重きをおかず、課題解決等の能力を身につけた人材には大変魅力を感じます。

在学中から企業と繋がることで、卒業後、地元地域社会貢献の即戦力になることと期待します。

データサイエンスの実学で期待します。

事業所アンケート回収・回答状況

(事業所) アンケート調査 : 167 票 (WEB アンケート 38 票含む)

回収日	回収数	累 計	回収日	回収数	累 計	回収日	回収数	累 計
6/20	2	2	8/8	1	90	10/17	2	132
6/21	4	6	8/9	1	91	10/18	1	133
6/22	2	8	8/12	1	92	10/20	1	134
6/23	1	9	8/14	1	93	10/21	1	135
6/24	3	12	8/15	1	94	10/24	4	139
6/25	1	13	8/18	1	95	10/25	2	141
6/26	1	14	8/22	2	97	10/26	1	142
6/27	26	40	8/23	2	99	10/28	3	145
6/28	11	51	8/26	1	100	10/31	2	147
6/29	2	53	8/29	4	104	11/1	4	151
7/1	4	57	8/30	1	105	11/2	1	152
7/3	1	58	9/2	1	106	11/4	2	154
7/4	4	62	9/5	2	108	11/9	1	155
7/6	1	63	9/6	3	111	11/11	2	157
7/8	1	64	9/7	2	113	11/14	1	158
7/9	1	65	9/8	2	115	11/15	1	159
7/11	3	68	9/12	1	116	11/16	1	160
7/12	1	69	9/13	2	118	11/22	1	161
7/14	1	70	9/16	1	119	11/24	1	162
7/15	1	71	9/20	1	120	11/28	1	163
7/19	7	78	9/26	4	124	11/29	1	164
7/20	5	83	9/28	1	125	12/1	1	165
7/25	2	85	10/5	1	126	12/5	1	166
7/26	3	88	10/11	1	127	12/19	1	167
8/5	1	89	10/12	3	130			

問5 貴社・貴団体の2023年度の新規大卒者の採用予定数は、2022年度と比較していかがですか。支社、支店、営業所、出張所等で本アンケート用紙を受取られた場合は、当該支社、支店、営業所、出張所等について、ご回答ください。

1. 増加する 3. 減少する 5. 未定
2. 前年度並み 4. 採用予定なし

(2024年4月開設を目指す金城大学「総合政策学部 総合経済学科」について)

問6 金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)には別紙のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、この特色はどの程度魅力に感じますか。

1. とても魅力を感じる 3. あまり魅力を感じない
2. ある程度魅力を感じる 4. まったく魅力を感じない

問7 貴社・貴団体では、金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. 採用したいと思わない

問8 上記問7で、「1. 採用したい」または「2. 採用を検討したい」を選択された方にお尋ねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。なお、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

1. 1人 5. 5人
2. 2人 6. 6人以上
3. 3人 7. その他(欠員の場合採用する等)
4. 4人 (具体的に_____)

問9 2024年4月開設予定の金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

<以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。>

金城の「総合経済」はおもしろい。

データサイエンスなどを駆使した課題解決力を地域経済に応用し、「持続可能な経済発展」を実現する総合的なカリキュラム。あらゆる企業で期待され活躍できる人材を養成。



総合政策学部 総合経済学科 (仮称)

2024(令和6)年4月 開設予定(設置構想中) 予定であり、内容は変更となる場合があります

入学定員

150人
(予定)

環境・健康分野等の
アプローチから
地域の総合的な
経済発展を学ぶ

POINT 1

全国の私立大学で最大規模の連携企業数!
「連携企業75社」との実践的な
演習とインターンシップで

POINT 2

在学中から
企業とつながる

充実の公務員養成
プログラム、
資格対策講座等を
開講

POINT 3

金城大学 総合政策学部 総合経済学科(仮称) 学びのイメージ

経済学 経営学

- SDGs
- 地域経済
- 地域ブランド
- ベンチャービジネス
- ビジネス
イノベーション

社会学

環境への展開

- カーボンニュートラル
- ビオトープ
- 環境マネジメント

健康への展開

- 健康増進
- QOL
- アンチエイジング

情報リテラシー

- データサイエンス ●AI
- IoT ●DX ●ビッグデータ

連携企業での実践

- 連携企業75社とPBL(課題解決型)学修、
インターンシップ



金城大学

金城大学 新課程設置プロジェクト

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200

TEL/076-276-4400(代表) FAX/076-275-4316

E-mail/hops@kinjo.ac.jp https://www.kinjo.ac.jp/ku/

人間社会 科学部

社会福祉学科
子ども教育保育学科*

医療健康 学部

理学療法学科
作業療法学科

看護学部 看護学科

公衆衛生看護学専攻科

大学院(総合リハビリテーション学研究所)

金城大学総合政策学部総合経済学科（仮称）の
設置構想に関するアンケート調査 集計結果

【金城大学短期大学部ビジネス実務学科対象】

令和4年10月

目 次

アンケート調査概要	1
アンケート集計結果	2
アンケート調査票	4

アンケート調査概要

1. アンケート調査の目的

本調査は、「金城大学総合政策学部総合経済学科（仮称）の設置構想に関する調査」としてアンケート調査票を作成し、金城大学短期大学部ビジネス実務学科の短大生に対して金城大学が設置を検討している「総合政策学部総合経済学科（仮称）」への進学希望について尋ね、4年制大学の3年次編入学制度のニーズを把握し、学生の確保の見通しを測ることを目的とする。

2. 調査対象

金城大学短期大学部2年生及び1年生を対象に実施した。

3. 調査方法

金城大学短期大学部にてGoogle Formsを利用したWEBアンケート・回収

4. 調査実施

令和4年10月

5. 回収状況

有効回答票 183 票

アンケート集計結果

[有効回答票：183 票]

問1 あなたの学年を記入してください。

回答者のうち、91人が「1学年」、92人が「2学年」である。

	件数
1 1学年	91
2 2学年	92
合計	183

問2 あなたが、現在住んでいる県・市町村名を記入してください。

回答者のうち、179人が「石川県」、3人が「富山県」、1人が「福井県」在住である。市町村では、「金沢市」が62人と最も多く、次いで「白山市」が57人、「小松市」が13人の順に続いている。

	件数
1 石川県	179
2 富山県	3
3 福井県	1
合計	183

「市・町・村」の回答

	件数		件数
金沢市	62	かほく市	6
白山市	57	川北町	2
小松市	13	羽咋市	1
加賀市	12	射水市	1
能美市	10	高岡市	1
河北郡	9	砺波市	1
野々市市	7	越前市	1

問3 あなたは、ビジネス実務学科卒業後どのような進路を希望しますか。1つだけ選んでください。

回答者の希望進路については、「就職」が164人(89.6%)と最も多く、「大学編入学(3年次)」では16人(8.7%)、「大学進学(編入学を除く)」1人(0.6%)となっている。

	件数	%
1 大学編入学(3年次)	16	8.7
2 大学進学(編入学を除く)	1	0.6
3 就職	164	89.6
4 その他	2	1.1
合計	183	100.0

問4 あなたは、金城大学「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)に3年次編入学をしたいと思いますか。

回答者の希望進路については、「編入学したくない」が121人(66.1%)と最も多く、「編入学を検討したい」では46人(25.2%)、「編入学したい」では16人(8.7%)となっている。

	件数	%
1 編入学したい	16	8.7
2 編入学を検討したい	46	25.2
3 編入学したくない	121	66.1
合計	183	100.0

問4で総合経済学科に「編入学したい」と回答した回答者16人について、学年別では、1学年7人(7.7%)、2学年9人(9.8%)である。

問5 ビジネス実務学科卒業後、就職を経た後に、再び学ぶ機会があれば、3年次編入学制度を利用して「総合政策学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)に編入学を希望しますか。

回答者の希望進路については、「編入学したくない」が130人(71.1%)と最も多く、「編入学を検討したい」では48人(26.2%)、「編入学したい」では5人(2.7%)となっている。

	件数	%
1 編入学したい	5	2.7
2 編入学を検討したい	48	26.2
3 編入学したくない	130	71.1
合計	183	100.0

金城の「総合経済」はおもしろい。

データサイエンスなどを駆使した課題解決力を地域経済に応用し、「持続可能な経済発展」を実現する総合的なカリキュラム。あらゆる企業で期待され活躍できる人材を養成。



総合政策学部 総合経済学科 (仮称)

2024(令和6)年4月 開設予定(設置構想中) 予定であり、内容は変更となる場合があります

入学定員
150人
(予定)

環境・健康分野等の
アプローチから
地域の総合的な
経済発展を学ぶ

POINT 1

全国の私立大学で最大規模の連携企業数!
「連携企業75社」との実践的な
演習とインターンシップで
在学中から
企業とつながる

POINT 2

充実の公務員養成
プログラム、
資格対策講座等を
開講

POINT 3

金城大学 総合政策学部 総合経済学科(仮称) 学びのイメージ

経済学 経営学

- SDGs
- 地域経済
- 地域ブランド
- ベンチャービジネス
- ビジネス
イノベーション

社会学

環境への展開

- カーボンニュートラル
- ビオトープ
- 環境マネジメント

健康への展開

- 健康増進
- QOL
- アンチエイジング

情報リテラシー

- データサイエンス ●AI
- IoT ●DX ●ビッグデータ

連携企業での実践

- 連携企業75社とPBL(課題解決型)学修、
インターンシップ



金城大学

金城大学 新課程設置プロジェクト

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200

TEL/076-276-4400(代表) FAX/076-275-4316

E-mail/hops@kinjo.ac.jp https://www.kinjo.ac.jp/ku/

人間社会^{*} 科学部

社会福祉学科
子ども教育保育学科^{*}

医療健康 学部

理学療法学科
作業療法学科

看護学部 看護学科

公衆衛生看護学専攻科

大学院(総合リハビリテーション学研究所)

北陸三県内の私立大学経済学系学部の令和4年度学生納付金

県	大学名	学部	入学定員		入学金	授業料	教育充実費等	計	備考(教育充実費等内訳)
石川県	金沢星稜大学	経済学部	440	1年次	120,000	1,020,000	22,500	1,162,500	委託徴収金 22,500円
				2年次以降 (年額)	-	1,020,000	22,500	1,042,500	
				4年間 計	120,000	4,080,000	90,000	4,290,000	
	金沢学院大学	経済学部	180	1年次	200,000	730,000	306,000	1,236,000	教育充実費 270,000円 後援会費 26,000円 学友会費 5,000円 同窓会費 5,000円
				2年次以降 (年額)	-	730,000	366,000	1,096,000	
				4年間 計	200,000	2,920,000	1,404,000	4,524,000	
	北陸大学	経済経営学部	305	1年次	200,000	650,000	300,000	1,150,000	
				2年次以降 (年額)	-	650,000	300,000	950,000	
				4年間 計	200,000	2,600,000	1,200,000	4,000,000	
福井県	福井工業大学	経営情報学部	90	1年次	250,000	930,000	364,500	1,544,500	設備充実費 240,000円 実験実習費 80,000円 厚生衛生費 30,000円 学友会費 7,000円 後援会費 7,500円
				2年次以降 (年額)	-	1,010,000	364,500	1,374,500	
				4年間 計	250,000	3,960,000	1,458,000	5,668,000	

金城大学総合経済学部総合経済学科
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

総合経済学部総合経済学科は、以下のような人物を入学者として求める。

- ①経済・経営・環境・健康に加え情報リテラシー及び社会調査の手法を学修するために必要な基礎的学力を有する人。
- ②現代社会や地域社会に対する関心と他者に対する思いやりを有する人。
- ③日々の活動の中から課題を見つけ、その原因や改善策を考えることができる人。
- ④明確な目標を持ち、その実現に向け主体的かつ継続的に学ぼうとする意欲のある人。
- ⑤多様な人々と適切なコミュニケーションを取れ、周りの人々がよりよく生きるための支えとなるべく地域社会に貢献したいと思う人。

金城大学の出身地別学生数

〈令和4年5月1日時点の在籍学生から集計〉

都道府県	人数	割合
石川県	803	69.8%
富山県	206	17.9%
福井県	69	6.0%
新潟県	17	1.5%
沖縄県	15	1.3%
岐阜県	6	0.5%
北海道	6	0.5%
秋田県	6	0.5%
栃木県	3	0.3%
長野県	2	0.2%
東京都	2	0.2%
宮城県	1	0.1%
山形県	1	0.1%
福島県	1	0.1%
神奈川	1	0.1%
千葉県	1	0.1%
茨城県	1	0.1%
群馬県	1	0.1%
愛知県	1	0.1%
静岡県	1	0.1%
京都府	1	0.1%
兵庫県	1	0.1%
山口県	1	0.1%
香川県	1	0.1%
福岡県	1	0.1%
宮崎県	1	0.1%
大分県	1	0.1%
計	1,151	100.0%
うち北陸三県(石川県、 富山県、福井県)の合計	1,078	93.7%

【資料】

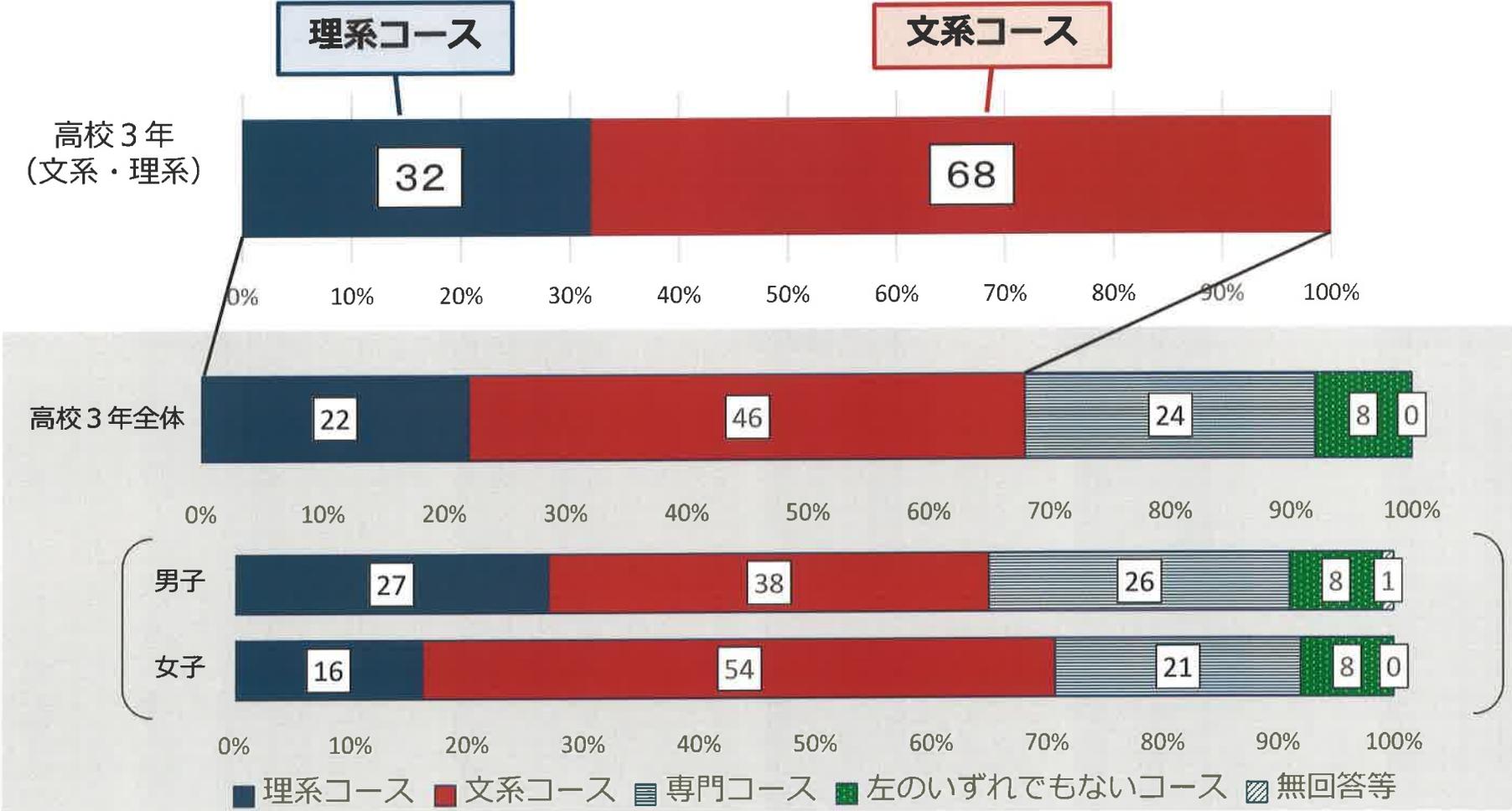
北陸三県の高等学校の県別生徒数（令和4年度学校基本調査より引用）

（単位：人）

	1学年		2学年		3学年	
	男	女	男	女	男	女
	男女計		男女計		男女計	
富山県	4,297	4,035	4,333	4,007	4,256	4,142
	8,332		8,340		8,398	
石川県	5,054	4,853	4,780	4,612	4,795	4,691
	9,907		9,392		9,486	
福井県	3,526	3,408	3,410	3,308	3,415	3,314
	6,934		6,718		6,729	
北陸三県 合計	12,877	12,296	12,523	11,927	12,466	12,147
	25,173		24,450		24,613	

高等学校生の文系・理系の選択状況について

- 高校の3校に2校（66%）では、文系・理系のコース分けを実施している。
- 高校3年（文系・理系）のうち、理系コースで履修する生徒の割合は32%、文系コースで履修する生徒の割合は68%である。



出典：国立教育政策研究所「中学校・高等学校における理系選択に関する研究最終報告書」（2013年3月）19

全国の総合経済学科を有する大学

No.	大学名	学部学科	区分	所在地
1	新潟大学	経済科学部総合経済学科	国立	新潟県
2	滋賀大学	経済学部総合経済学科	国立	滋賀県
3	長崎大学	経済学部総合経済学科	国立	長崎県

日本私立学校振興・共済事業団 入学志願動向（学部別志願者5年間集計）

【経済学部】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	直近5年間合計	直近5年間平均
入学定員（人）	40,016	39,077	38,695	39,013	38,782	195,583	39,117
志願者数（人）	412,231	422,743	391,925	350,241	342,042	1,919,182	383,836
志願倍率（倍）	10.3	10.8	10.1	9.0	8.8	9.8	9.8
入学定員充足率（％）	104.2	101.9	102.7	101.4	103.6	102.8	102.8

【経営学部】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	直近5年間合計	直近5年間平均
入学定員（人）	25,431	26,870	27,861	27,966	27,806	135,934	27,187
志願者数（人）	268,888	296,026	292,165	252,916	248,941	1,358,936	271,787
志願倍率（倍）	10.6	11.0	10.5	9.0	9.0	10.0	10.0
入学定員充足率（％）	106.3	103.8	105.3	103.3	104.8	104.7	104.7

【商学部】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	直近5年間合計	直近5年間平均
入学定員（人）	14,598	14,399	14,296	14,341	14,421	72,055	14,411
志願者数（人）	132,345	136,618	132,978	117,896	110,369	630,206	126,041
志願倍率（倍）	9.1	9.5	9.3	8.2	7.7	8.7	8.7
入学定員充足率（％）	106.4	102.8	102.4	99.8	104.9	103.3	103.3

出典：私立大学・短期大学等入学動向調査（日本私立学校振興・共済事業団）
 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）



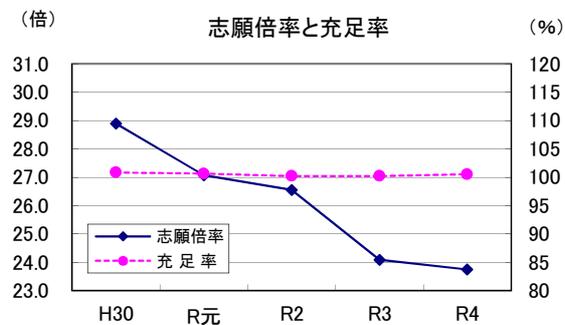
令和4(2022)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

学部系統別の動向 過去5カ年の推移（大学）

過去5カ年における学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率を下表に示した。

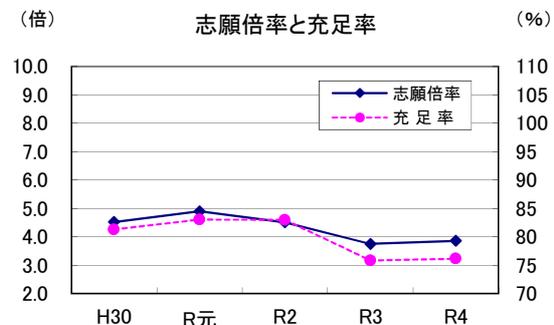
医学

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	31	31	31	31	31
志願倍率	28.89	27.07	26.55	24.09	23.75
充 足 率	100.83	100.63	100.20	100.20	100.51



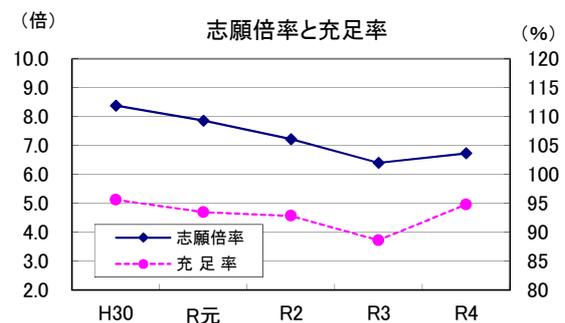
歯学

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	17	17	17	17	17
志願倍率	4.52	4.90	4.51	3.75	3.86
充 足 率	81.29	83.03	82.98	75.83	76.13



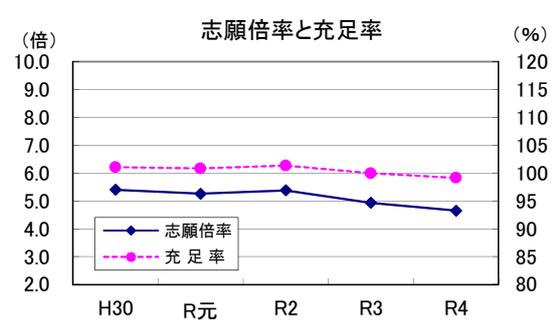
薬学

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	57	57	59	60	60
志願倍率	8.38	7.86	7.22	6.40	6.73
充 足 率	95.62	93.46	92.82	88.61	94.79



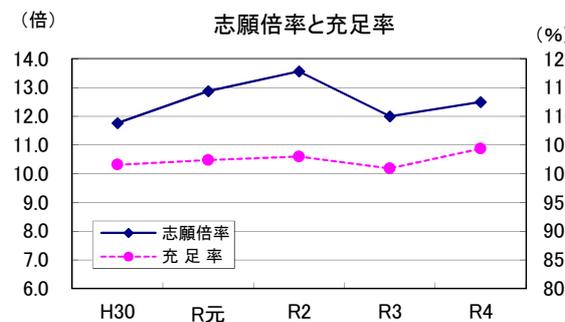
保健系

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	220	236	244	254	266
志願倍率	5.40	5.26	5.38	4.93	4.65
充 足 率	101.06	100.81	101.34	99.97	99.13



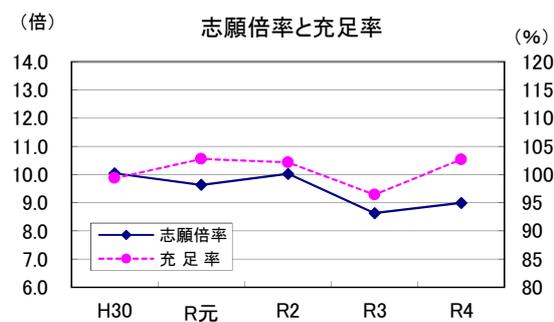
理・工学系

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	150	151	157	162	166
志願倍率	11.76	12.87	13.56	11.99	12.49
充 足 率	101.55	102.35	102.97	100.90	104.35



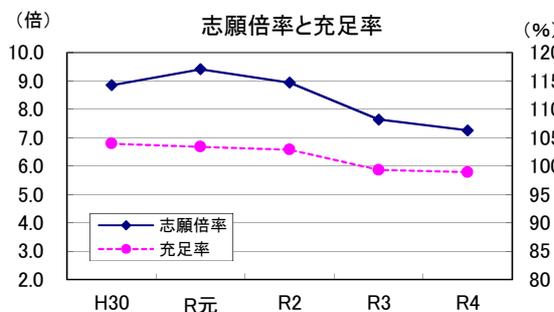
農学系

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	21	22	23	25	25
志願倍率	10.04	9.63	10.02	8.63	8.99
充 足 率	99.36	102.76	102.15	96.41	102.65



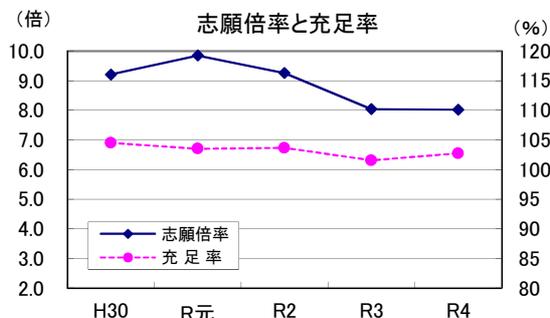
人文科学系

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	244	243	245	245	250
志願倍率	8.85	9.41	8.94	7.64	7.26
充 足 率	103.94	103.40	102.88	99.30	98.93



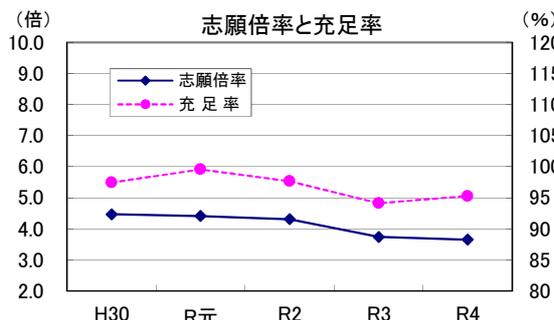
社会科学系

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	513	515	520	526	528
志願倍率	9.21	9.85	9.26	8.04	8.02
充 足 率	104.51	103.51	103.65	101.56	102.73



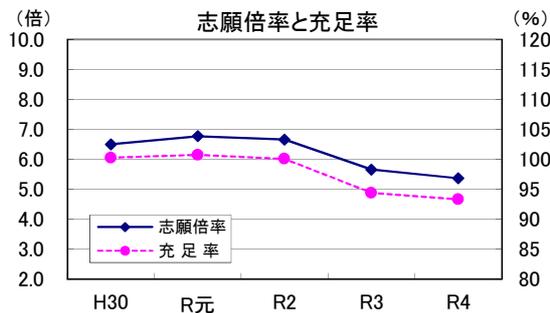
家政学

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	81	84	84	83	82
志願倍率	4.47	4.41	4.31	3.74	3.65
充 足 率	97.46	99.56	97.67	94.11	95.28



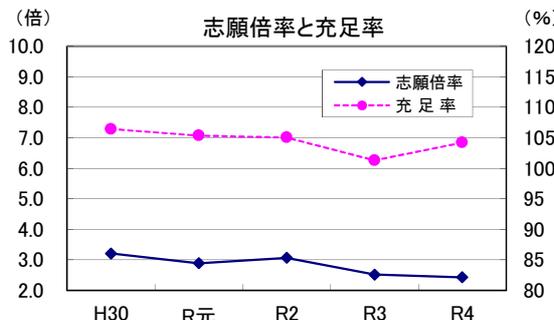
教育学

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	94	101	103	104	108
志願倍率	6.50	6.77	6.66	5.66	5.37
充 足 率	100.26	100.75	100.09	94.40	93.31



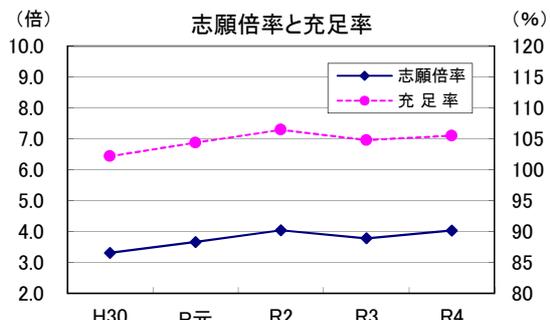
体育学

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	11	11	11	11	11
志願倍率	3.21	2.89	3.07	2.52	2.43
充 足 率	106.44	105.38	105.06	101.31	104.22



芸術系

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
学 部 数	56	58	58	56	56
志願倍率	3.31	3.66	4.04	3.78	4.03
充 足 率	102.17	104.37	106.45	104.78	105.50



リクルート進学総研2022年度入試実態調査(学部系統別志願状況5年間集計)

国立・私立の学部系統別志願者数(単位:人)

	2013年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	直近3か年平均
経済・政経学部	424,528	565,489	582,993	543,043	470,773	468,396	494,071
経営学部	231,922	335,796	392,393	384,978	326,175	317,458	342,870
商学部	114,186	132,185	135,848	130,437	116,058	108,393	118,296
上記3系統の合計	770,636	1,033,470	1,111,234	1,058,458	913,006	894,247	955,237
全系統の合計	3,887,867	4,610,640	4,914,748	4,805,991	4,221,170	4,233,979	4,420,380
全系統に対する 経済系3系統の割合	19.8%	22.4%	22.6%	22.0%	21.6%	21.1%	21.6%

私立のみの学部系統別志願者数(単位:人)

	2013年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	直近3か年平均
経済・政経学部	373,609	511,305	527,028	489,618	422,721	418,252	443,530
経営学部	225,414	324,533	382,540	376,450	317,937	308,609	334,332
商学部	111,102	129,329	132,700	127,595	113,239	105,494	115,443
上記3系統の合計	710,125	965,167	1,042,268	993,663	853,897	832,355	893,305
全系統の合計	3,334,859	4,071,853	4,370,829	4,293,064	3,720,691	3,730,784	3,914,846
全系統に対する 経済系3系統の割合	21.3%	23.7%	23.8%	23.1%	22.9%	22.3%	22.8%

出典:リクルート進学総研「2022年度入試実態調査」
学部系統別志願状況(私立)

分野別志願割合（北陸×私立）

【資料】

北陸 分野系統	系統別志願割合										
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
法律・政治・政策系	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%
経済・経営・商学	10.4%	10.7%	10.8%	9.9%	10.6%	12.9%	15.4%	14.8%	15.9%	16.9%	16.6%
文学・人文(地理歴史)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
文学・人文(地理歴史以外)	2.9%	2.5%	2.4%	2.2%	2.8%	3.3%	2.9%	2.8%	3.4%	3.5%	3.8%
語学(英語)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
語学(英語以外)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際関係・観光系	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.8%	2.0%	2.7%	3.0%	2.5%
社会・マスコミ・情報・メディア	1.0%	2.8%	1.3%	1.3%	1.4%	1.4%	2.1%	1.5%	1.8%	1.7%	2.2%
心理・人間・哲学・宗教	2.3%	1.9%	1.8%	1.4%	1.2%	1.4%	0.9%	1.9%	1.9%	1.9%	2.8%
教育・保育	6.1%	4.7%	5.2%	4.8%	4.9%	5.0%	4.7%	5.5%	5.0%	5.1%	5.9%
教養・総合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
芸術・表現系	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	1.0%
医学	17.2%	17.0%	14.5%	15.5%	16.8%	20.1%	15.0%	19.3%	15.3%	14.7%	14.6%
歯学	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
薬学	2.9%	2.9%	4.3%	3.7%	3.1%	2.7%	1.6%	1.6%	1.9%	1.5%	1.3%
看護	1.5%	1.5%	1.3%	1.0%	2.4%	2.7%	1.9%	2.1%	1.8%	1.7%	2.2%
医療・保健(リハ以外)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.8%	1.2%	1.1%	0.8%
医療・保健(リハ系・リハ含む)	1.3%	1.6%	2.6%	1.9%	2.3%	2.1%	1.5%	1.1%	1.0%	1.2%	1.4%
福祉	2.4%	2.1%	2.0%	1.6%	1.5%	1.2%	0.9%	0.5%	0.5%	0.4%	0.6%
家政学(家政・生活科学)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.1%	1.0%	1.4%	1.5%	1.2%
家政学(食・栄養・管理栄養)	1.4%	1.2%	1.3%	0.9%	2.1%	2.3%	2.5%	2.3%	2.5%	2.6%	2.2%
スポーツ・体育・健康	1.0%	0.9%	1.0%	1.0%	1.2%	2.0%	2.5%	2.4%	2.3%	2.5%	2.7%
工学・建築・技術(その他)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
工学・建築・技術(医用工学)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
工学・建築・技術(機械・メカ・制御)	17.2%	15.2%	17.0%	18.3%	16.1%	12.7%	11.7%	12.1%	11.9%	11.6%	10.9%
工学・建築・技術(建築土木都市環境)	7.6%	7.3%	8.8%	10.2%	11.5%	9.3%	10.8%	9.1%	9.3%	8.4%	8.1%
工学・建築・技術(電気電子情報)	15.1%	18.9%	16.9%	17.2%	14.7%	13.0%	15.5%	13.6%	14.1%	14.2%	14.3%
数学・物理・化学(その他)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学・物理・化学(化学・生命・生物)	4.1%	3.9%	3.9%	3.7%	2.9%	2.6%	1.9%	1.8%	2.0%	2.2%	1.6%
数学・物理・化学(数・数理・物理・プログラマ)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物(獣医・水産・畜産系)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物(農・園芸・バイオ・生命科学)	4.6%	3.8%	4.1%	3.7%	2.8%	2.5%	2.1%	1.9%	1.9%	1.7%	1.7%
地球・環境・エネルギー	0.3%	0.1%	0.2%	0.7%	1.0%	0.0%	0.7%	1.1%	1.0%	1.2%	1.1%

北陸エリアにおいては経済系分野の志願割合が上昇。定員増に沿って志願総量の増加がうかがえる。

●総志願者数/分野別志願者数＝系統別志願割合を算出

分野別志願割合（石川×私立）

石川県 分野系統	系統別志願割合										
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
-	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツ・体育・健康	1.3%	1.1%	1.2%	1.3%	1.0%	2.4%	2.4%	1.9%	2.0%	2.2%	2.6%
医学	22.8%	20.7%	17.9%	19.9%	23.2%	24.1%	20.1%	23.5%	18.7%	18.3%	17.8%
医療・保健（リハ以外）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.0%	1.4%	1.4%	1.0%
医療・保健（リハ系・リハ含む）	1.7%	2.0%	3.2%	2.4%	3.2%	2.5%	2.0%	1.3%	1.2%	1.5%	1.7%
家政学（食・栄養・管理栄養）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.1%	0.9%	1.2%	1.3%	1.2%
看護	1.9%	1.9%	1.6%	1.3%	3.3%	3.2%	2.6%	2.5%	2.2%	2.1%	2.7%
教育・保育	4.5%	3.1%	3.6%	3.3%	3.7%	3.6%	4.0%	4.7%	4.5%	4.8%	5.2%
経済・経営・商学	13.8%	13.0%	13.4%	12.8%	12.9%	15.4%	18.5%	15.8%	17.4%	18.6%	18.5%
芸術・表現系	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.6%	0.8%	0.9%	1.2%
工学・建築・技術（機械・メカ・制御）	21.2%	17.0%	19.3%	20.4%	18.5%	15.2%	12.8%	11.6%	11.3%	10.7%	9.9%
工学・建築・技術（建築土木都市環境）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	9.0%	8.0%	7.7%
工学・建築・技術（電気電子情報）	9.4%	21.5%	19.5%	19.0%	16.8%	15.6%	18.0%	13.3%	13.7%	13.6%	13.9%
国際関係・観光系	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.4%	2.5%	3.3%	3.8%	3.0%
社会・マスコミ・情報・メディア	0.0%	2.1%	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	1.9%	0.8%	0.9%	0.9%	1.3%
心理・人間・哲学・宗教	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	1.3%	2.2%
数学・物理・化学（化学・生命・生物）	5.4%	4.7%	4.8%	4.8%	4.0%	3.1%	2.5%	2.2%	2.5%	2.7%	2.0%
生物（農・園芸・バイオ・生命科学）	6.1%	4.6%	5.1%	4.8%	3.9%	3.0%	2.8%	2.3%	2.4%	2.1%	2.1%
福祉	3.1%	2.5%	2.4%	2.1%	2.0%	1.5%	1.3%	0.6%	0.7%	0.6%	0.7%
文学・人文（地理歴史）	1.0%	0.9%	0.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
文学・人文（地理歴史以外）	1.6%	1.3%	1.2%	1.5%	2.5%	2.6%	2.7%	2.5%	3.2%	3.6%	3.6%
薬学	3.8%	3.5%	5.3%	4.7%	4.3%	3.2%	2.2%	2.0%	2.3%	1.8%	1.6%

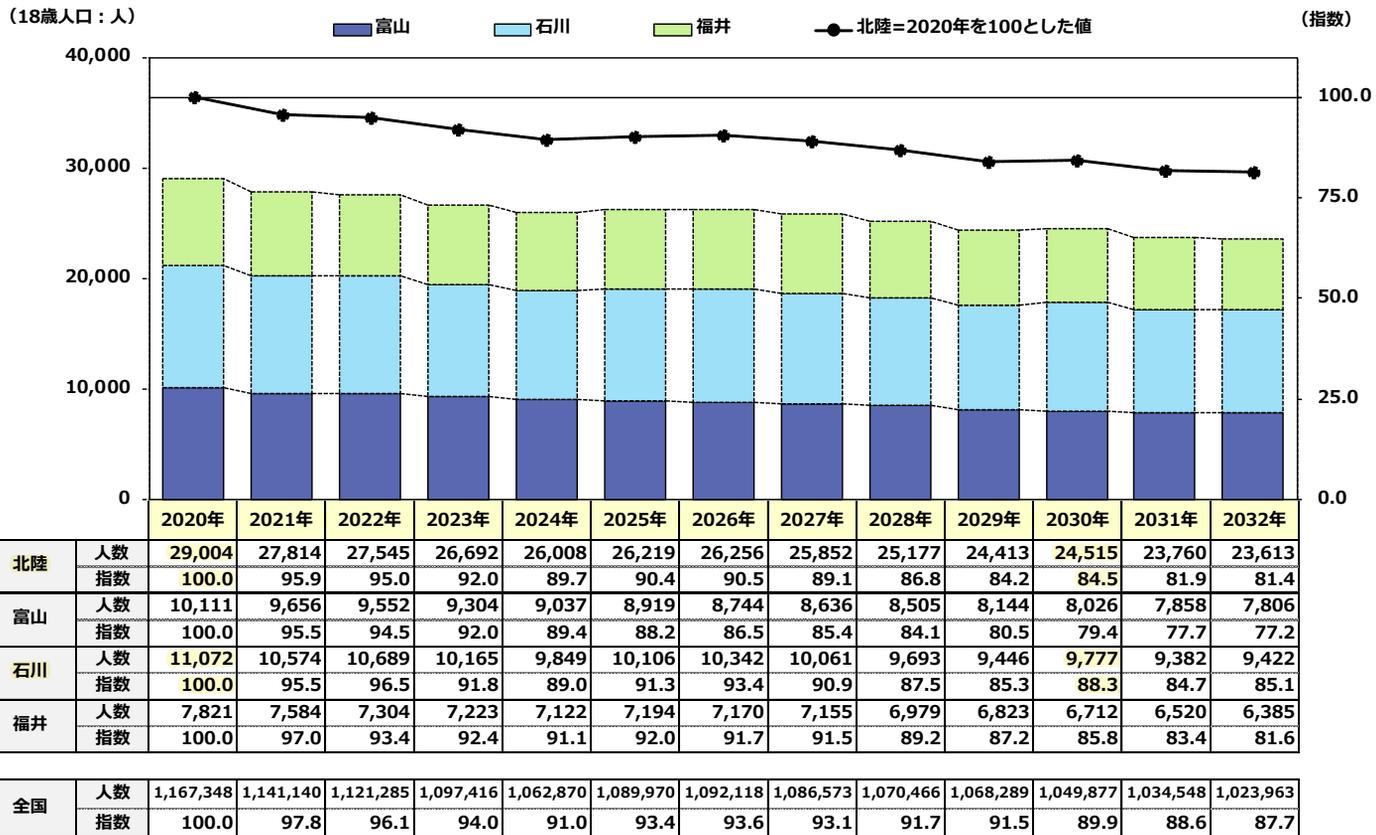
出典先：リクルート進学総研「入試実態調査」

18歳人口予測（全体：北陸：2020～2032年）

【資料】

■ 2020年29,004人→2032年23,613人（5,391人減少）

- ・北陸エリアは12年間で5,391人・18.6%減少し、全国の減少率12.3%を6.3ポイント上回る。
- ・2024年26,008人まで減少し、2026年にかけて248人増加するが再び2028年まで減少、翌年から2030年まで微増、以降2032年まで減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、富山県（2020年比較22.8%減少）。
- ・減少数が多いのも、富山県（2020年10,111人→2032年7,806人、2,305人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（全体：北陸：2013～2022年）

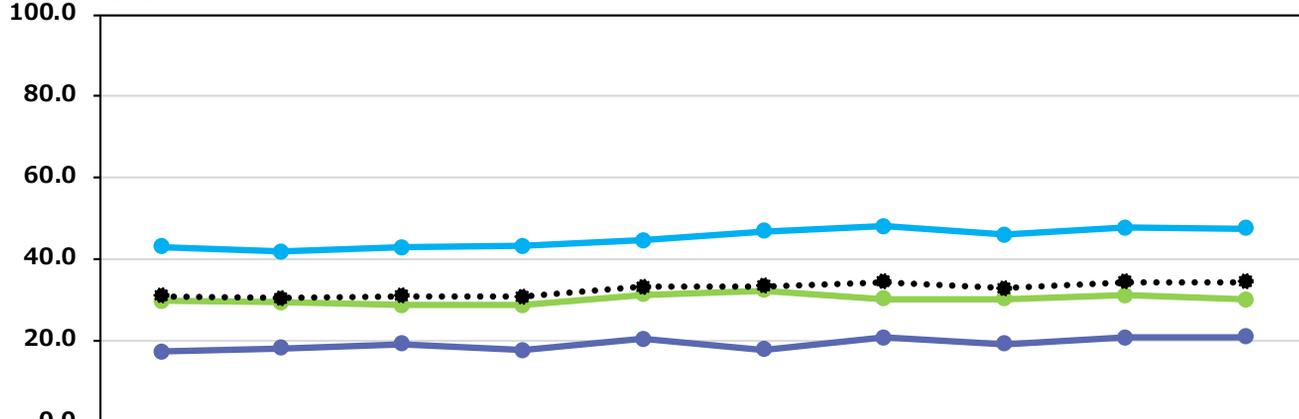
【資料】

■ 大学は、2013年31.0%→2022年34.4%（3.4ポイント上昇）
 短期大学は、2013年70.3%→2022年75.2%（4.9ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、石川県（2013年43.2%→2022年47.6%、4.4ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、富山県（2013年62.1%→2022年72.4%、10.3ポイント上昇）。

大学全体：地元残留率

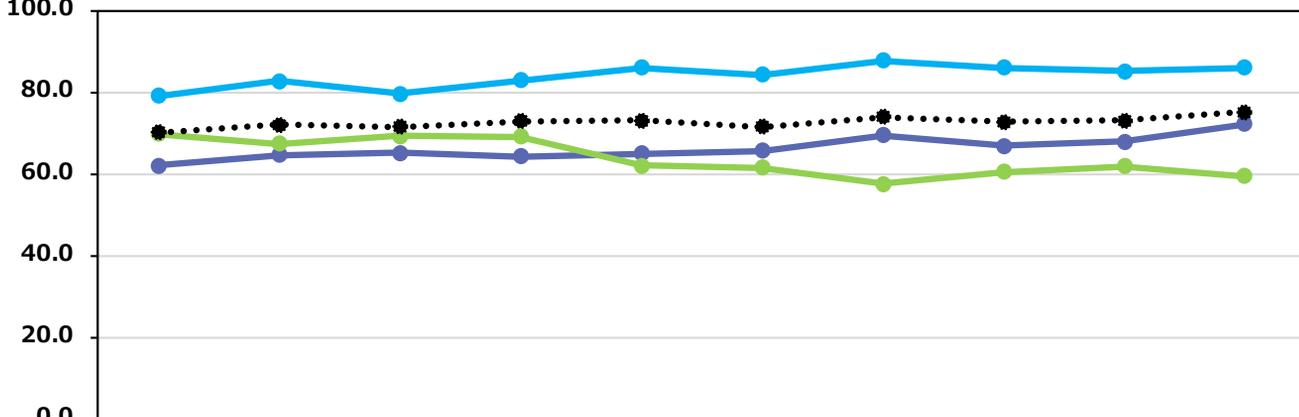
(%) 富山 石川 福井 ...北陸 全体



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
北陸	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4	32.9	34.4	34.4
富山	17.4	18.2	19.2	17.7	20.5	17.9	20.9	19.2	20.8	21.0
石川	43.2	41.9	42.9	43.3	44.7	46.9	48.2	46.0	47.8	47.6
福井	29.8	29.4	28.7	28.8	31.4	32.4	30.3	30.3	31.2	30.2

短期大学全体：地元残留率

(%) 富山 石川 福井 ...北陸 全体



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
北陸	70.3	72.2	71.6	73.0	73.2	71.7	74.1	72.8	73.2	75.2
富山	62.1	64.8	65.3	64.3	65.1	65.7	69.5	67.0	68.0	72.4
石川	79.3	82.9	79.8	83.0	86.2	84.5	87.8	86.1	85.3	86.2
福井	69.9	67.4	69.4	69.2	62.1	61.6	57.7	60.5	62.0	59.5

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校（中）卒の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

学生確保（資料）→94-

北陸エリア概要（全体：県別）

富山県



学校数

大学 : 5 (国立 1・公立 1・私立 3)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 21 (公立 3・私立 18)

卒業生数

2013年9,556人→2022年8,517人 (1,039人減少)

進学者数

大学 : 2013年4,160人→2022年4,167人 (7人増加)
 短期大学 : 2013年 780人→2022年 585人 (195人減少)
 専門学校 : 2013年1,724人→2022年1,518人 (206人減少)

進学率（現役）

大学 : 2013年43.5%→2022年48.9% (5.4ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 8.2%→2022年 6.9% (1.3ポイント低下)
 専門学校 : 2013年18.0%→2022年17.8% (0.2ポイント低下)

残留率

大学 : 2013年17.4%→2022年21.0% (3.6ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年62.1%→2022年72.4% (10.3ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位石川 (332人)、2位愛知 (238人)、3位長野 (169人)
 短期大学 : 1位石川 (10人)、2位岐阜 (3人)、3位福井 (2人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位石川 (922人)、2位東京 (523人)、3位愛知 (338人)
 短期大学 : 1位石川 (83人)、2位岐阜 (23人)、3位東京 (10人)

学校数

大学 : 14 (国立 2・公立 4・私立 8)
 短期大学 : 4 (私立 4)
 専門学校 : 33 (公立 3・私立 30)

卒業生数

2013年10,529人→2022年9,995人 (534人減少)

進学者数

大学 : 2013年4,899人→2022年5,405人 (506人増加)
 短期大学 : 2013年 735人→2022年 579人 (156人減少)
 専門学校 : 2013年1,549人→2022年1,426人 (123人減少)

進学率（現役）

大学 : 2013年46.5%→2022年54.1% (7.6ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 7.0%→2022年 5.8% (1.2ポイント低下)
 専門学校 : 2013年14.7%→2022年14.3% (0.4ポイント低下)

残留率

大学 : 2013年43.2%→2022年47.6% (4.4ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年79.3%→2022年86.2% (6.9ポイント上昇)

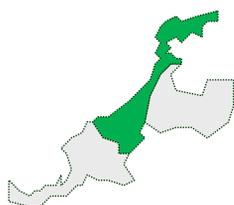
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位富山 (922人)、2位福井 (319人)、3位長野 (315人)
 短期大学 : 1位富山 (83人)、2位福井 (11人)、3位新潟・長野 (5人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位東京 (458人)、2位京都 (371人)、3位大阪 (353人)
 短期大学 : 1位岐阜 (23人)、2位富山 (10人)、3位東京・大阪・兵庫 (7人)

石川県



- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2022年学校基本調査より)
- ・卒業生数 : 高等学校卒業した数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

— 学生確保(資料) — 95 —

※専門学校=専修学校専門課程

大学進学時の都道府県別流入・流出率

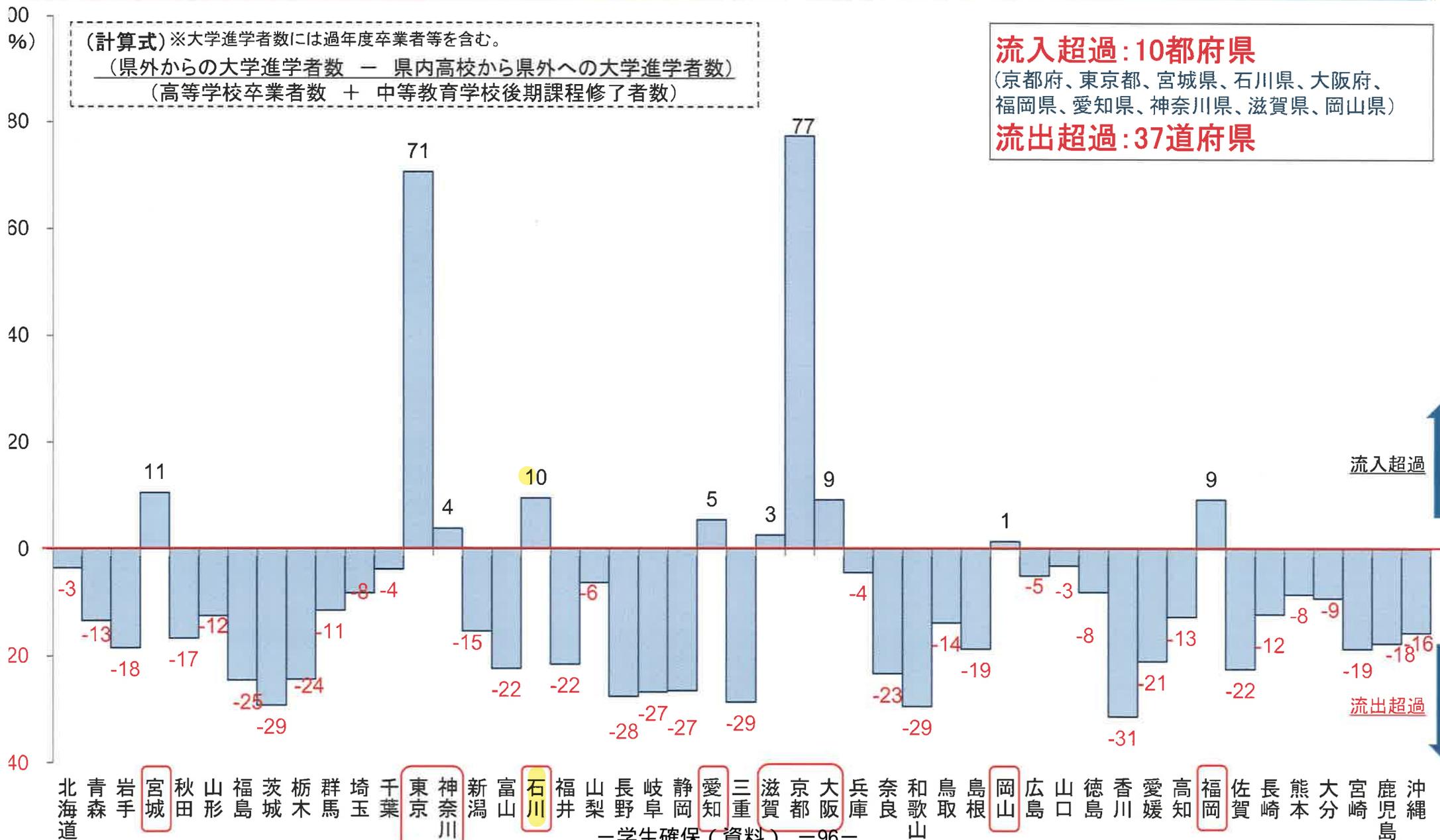
【資料】

- 大学進学時の各都道府県における流入者・流出者の割合をみると、流入超過が10都府県、流出超過が37道府県となっている。
- 流入率が最も高い京都府では、京都府の高校等卒業生の77.4%に相当する人数が他県から京都府内の大学に入学し、流出率が最も高い香川県では、香川県の高校等卒業生の31.3%に相当する人数が香川県から他県の大学に進学している。

(計算式) ※大学進学者数には過年度卒業者等を含む。

$$\frac{(\text{県外からの大学進学者数} - \text{県内高校から県外への大学進学者数})}{(\text{高等学校卒業生数} + \text{中等教育学校後期課程修了者数})}$$

流入超過: 10都府県
 (京都府、東京都、宮城県、石川県、大阪府、福岡県、愛知県、神奈川県、滋賀県、岡山県)
流出超過: 37道府県

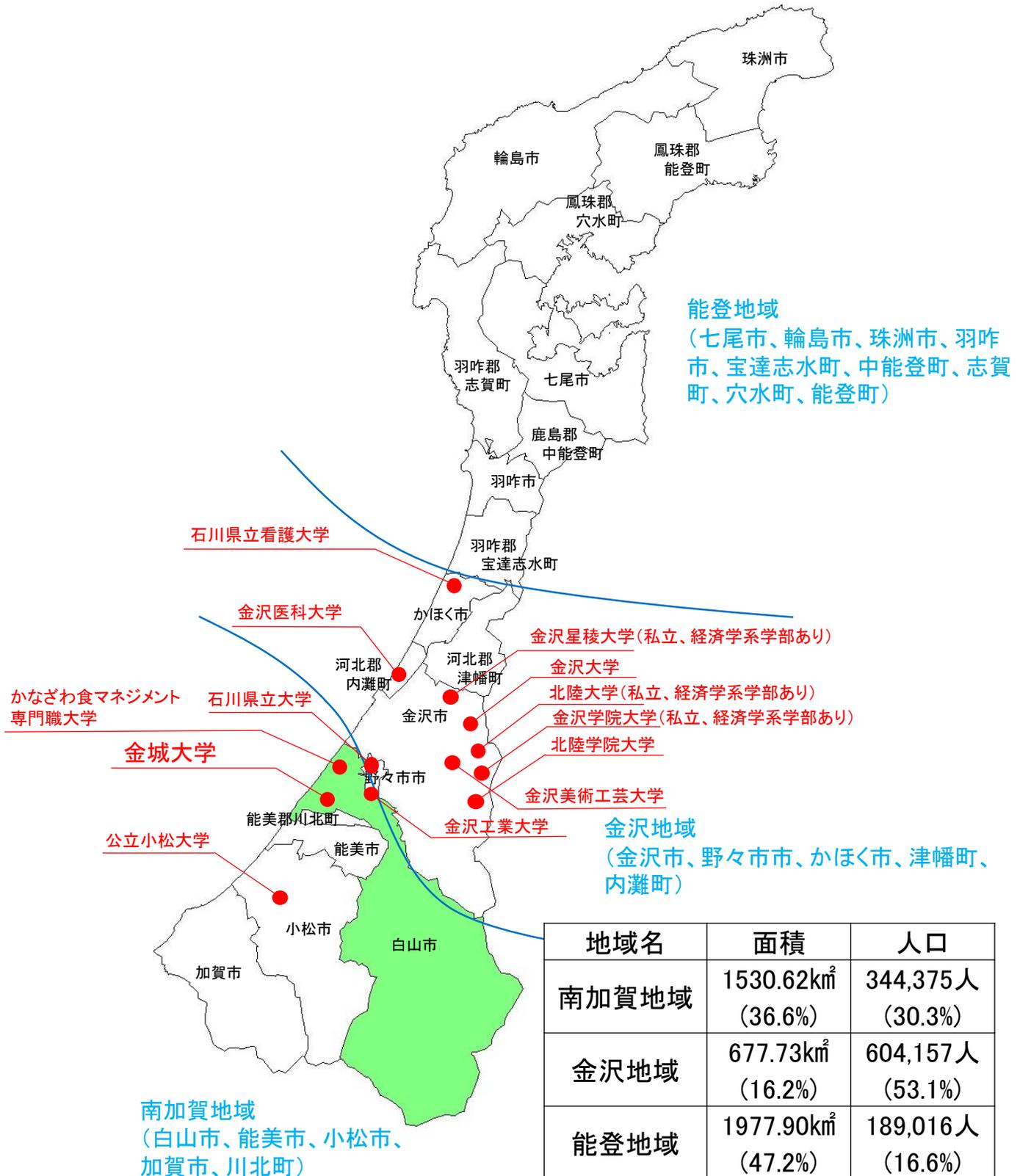


【出典】文部科学省「令和元年度学校基本統計」

北陸三県の経済学系学部を有する大学の入学定員数

県	区分	大学名	学部名称	学科名称	項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
石川県	国	金沢大学	人間社会学域	経済学類	志願者数	169	286	157		
					受験者数	165	264	161		
					合格者数	112	116	114		
					入学者数	105	109	109		
					入学定員	106	106	110		
					入学定員充足率	107%	106%	105%		
					志願倍率	1.51	2.47	1.38		
					私	金沢星稜大学	経済学部	経済学科	志願者数	1598
	受験者数	1578	1467	1869						
	合格者数	1122	943	778						
	入学者数	296	268	274						
	入学定員	270	270	270						
	入学定員充足率	110%	99%	101%						
	志願倍率	1.42	1.62	2.47						
	経営学科	志願者数	865	958	1191					
	受験者数	857	916	1159						
	合格者数	682	504	486						
	入学者数	172	177	175						
	入学定員	170	170	170						
	入学定員充足率	101%	104%	103%						
	志願倍率	1.27	1.90	2.45						
	私	金沢学院大学	経済学部	経済学科	志願者数			502	454	535
	受験者数				491			442	522	
	合格者数				328	251	201			
	入学者数				110	80	80			
	入学定員				110	80	80			
	入学定員充足率				100%	100%	100%			
	志願倍率				1.53	1.81	2.66			
	経営学科				志願者数	332	289	312		
	受験者数			322	282	305				
	合格者数			242	158	113				
	入学者数			96	77	77				
	入学定員			70	60	60				
	入学定員充足率			137%	128%	128%				
	志願倍率			1.37	1.83	2.76				
	私			北陸大学	経済経営学部	マネジメント学科	志願者数	544	649	804
受験者数	536						612	786		
合格者数	517	507	530							
入学者数	216	260	297							
入学定員	305	290	290							
入学定員充足率	71%	90%	102%							
志願倍率	1.05	1.28	1.52							
石川県内経済系4大学の合計							入学定員	1,031	976	980
福井県	私	福井工業大学	経営情報学部	経営情報学科	志願者数	217	384	649		
					受験者数	210	382	636		
					合格者数	109	92	111		
					入学者数	109	100	90		
					入学定員	90	90	80		
					入学定員充足率	121%	111%	113%		
					志願倍率	1.99	4.17	5.85		

石川県内4年制大学の立地状況



108社の連携企業

(50音順・2023年2月28日現在)

連携企業は、北陸を代表する金融機関、全国展開する大型ショッピングモール、国内トップシェアを誇る製造業など、さまざまな業種の108社。興味を持った企業・自治体から直接学び、将来につながる力を身につけます。



1 (株)アース	37 (株)グランドホテル白山	73 (株)トップシーン
2 (株)アーバンホーム	38 黒崎産業(株)	74 (株)トフンテックス
3 (株)アイ・オー・データ機器	39 (株)ケイエスディ	75 七尾市
4 アイナックス稲本(株)	40 兼六建設(株)	76 ニッコー(株)
5 (株)明石合銅	41 コクヨ北陸新潟販売(株)	77 野々市市
6 (株)アクトリー	42 小松鋼機(株)	78 野村證券(株)金沢支店
7 (株)あさがおテレビ	43 小松市	79 萩野塗装(株)
8 (株)朝日電機製作所	44 小松市農業協同組合	80 白山石川医療企業団
9 (株)アドバンス北陸サービス	45 小松商工会議所	81 白山市
10 イオンモール白山	46 小松プラント(株)	82 白山商工会
11 石川県信用農業協同組合連合会	47 小松マテーレ(株)	83 白山商工会議所
12 石川県中小企業家同友会	48 コマニー(株)	84 (株)ビルカン
13 石川県農業協同組合中央会	49 (株)コムレイド	85 (株)フクズミ
14 (株)石川コンピュータ・センター	50 金剛(株)	86 (福)佛子園
15 石友ホーム(株)	51 (株)歯愛メディカル	87 (株)フラワーガーデン
16 ウエルド(株)	52 (株)シ・ピ・エル	88 (株)ベスト家具(リーファノカガワ)
17 (株)エイム	53 島屋建設(株)	89 ホクショー(株)
18 (株)エクスプレッションズ	54 伸晃化学(株)	90 北陸化成(株)
19 (一社)FSVスポーツアカデミー	55 (株)スギヨ	91 (株)北陸銀行
20 (株)オークラニッコーホテルマネジメント金沢(ホテル日航金沢)	56 珠洲市	92 北陸総合警備保障(株)
21 オリジナルサポート(株)	57 珠洲商工会議所	93 (株)北陸ソフト開発
22 加賀商工会議所	58 (株)スパーテル	94 (株)北国新聞社
23 加賀味噌食品工業協業組合	59 セコム北陸(株)	95 (株)ホライズン・ホテルズ(ANAクラウンプラザホテル金沢)
24 (株)加賀屋	60 全国共済農業協同組合連合会石川県本部	96 (株)ホンダサロン石川
25 (株)金沢ソール	61 全国農業協同組合連合会石川県本部	97 前田製菓(株)
26 金沢信用金庫	62 (株)双星設計	98 松任市農業協同組合
27 (株)金沢ニューグランドホテル	63 第一生命保険(株)	99 丸西組グループ
28 賀谷ゼロファン(株)	64 高田舗装(株)	100 美川商工会
29 岸建販(株)	65 高松機械工業(株)	101 三谷産業(株)
30 北川遼青工業(株)	66 タマダ(株)	102 (株)宗重商店
31 北崎自動車工業(株)(白山きたさきバス)	67 医療法人社団 田谷会	103 ヨシダ印刷(株)
32 (株)絹川商事	68 (株)辻鉄	104 ヨシダ自動車(株)
33 近畿日本ツーリスト(株)金沢支店	69 鶴来商工会	105 ライオンパワー(株)
34 (株)金太	70 (株)天祥閣	106 (株)六星
35 (株)きんでん中部支社	71 東亜電機工業(株)	107 輪島市
36 (株)クスリのアイキ	72 (株)トスマク・アイ	108 輪島商工会議所

OPEN CAMPUS

※都合により変更になる場合があります。開催時間や参加方法などの情報はHPをご確認ください。

2023 5/21(日) 6/18(日) 7/15(土) 7/16(日)
8/6(日) 8/19(土) 8/20(日) 9/18(月・祝) 10/22(日)

2024 3/24(日)

推薦・一般選抜対策セミナー

2023 9/24(日)



お申し込みはこちら!
※デバイスによっては読めない場合があります。



総合政策学部* | 人間社会学部 | 医療健康学部 | 看護学部

*2024年4月開設予定(設置認可申請中)

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地

フリーダイヤル 0120-276-150 <https://www.kinjo.ac.jp/ku/>

石川県をはじめ、北陸で働く人々を紹介。今まで知らなかった地元企業の魅力を発見するマガジン

【資料】

DISCOVER



@北陸銀行

合言葉は「もっと」

新しいサービスを

次々に生み出す

銀行員の取り組みを

徹底解剖

特集：北陸初！

金城大学に2024年、
総合政策学部が新設！

※名称・設置認可申請中。設置計画は予定であり、内容は変更となる可能性があります。

KAWA

2023.3

published by Kinjo University



北陸銀行

創業1877(明治10)年。富山県富山市に本店を置く地方銀行。北陸3県と北海道を中心に国内188、海外6の店舗を展開している(2022年3月末時点)。

2024年4月、石川県の金城大学に総合政策学部が誕生する。その新学部に関連企業としてかわることになったのが北陸銀行だ。北陸銀行とはどんな銀行なのか、また、なぜ大学と連携するのか。地元・北陸出身の2人に話を聞いた。



環境への取り組みや、DXで実現する未来について、地元の大学生と一緒に考えたい。

沖野 恵司さん(写真左・石川県出身)

木原 美紗樹さん(写真右・富山県出身)

—北陸銀行の業務内容を教えてください。

「銀行には預金、融資、為替という三大業務といわれるものがある、これが本業になります。預金はお客さまの財産をお預かりして管理すること、融資はお預かりしたお金を他のお客さまに貸し出すこと、為替はお客さまのために振り込みや送金を行うことです」

—どれもお金を扱う大切な業務ですね。

「本当にそのとおりです。また、北陸銀行では、この他にもお客さまの課題解決をお手伝いする仕事もしています。なぜなら、お客さまのニーズが単に『お金を貸してほしい』だけではなくなってきたからです」

—具体的にはどんなニーズがあるんですか？

「企業のお客さまだと、事業の拡大、後継ぎなどの事業承継、従業員の満足度向上についてのご相談があります。個人のお客さまだと、長い人生を見すえでの保険や資産運用などのご相談が多いですね」

—銀行がそんなことまでしているなんて知りませんでした。

「きっとみなさんそうですね(笑)。もちろん、私たちも入行当初からノウハウがあったわけではありません。それらのニーズにお応えするために、必死で勉強しているところなんです」

—働きながら勉強するって大変そうですね…

「全然そんなことはなくて、むしろみんな好きなこと、興味のあることに率先して取り組んでいる感じがですね。北陸銀行には、成長したい人を積極的に応援しようという風土があります。勉強会が開催されたり、資格を取得したい人は無料の講座が受けられたりと、サポートも手厚いんですよ」

—ちゃんとプライベートな時間はとれていますか？

「もちろんです。最近よく耳にするワーク・ライフ・バランスにも力を入れています。例えば『今日は早く帰ろう!』と決めるスマートワーク運動があったりと、みんな仕事と家庭を両立させながら働いています。休暇もとりますので、福利厚生も満足度も高いんですよ」

—それを聞いて安心しました。

「北陸銀行の特徴的なところといえば、私たちは『もっと』という言葉が大好きなんです。もっと楽しく働きたい、もっとプライベートを充実させたい。みんながそう思っているからこそ、次々に新しい取り組みが生まれるんだと思います」

—そんな北陸銀行が、大学と連携する理由は何ですか？

「北陸銀行には、みなさんが思っている以上にたくさんの専門部署があります。その中に地域創生部というのがあって、ここでは地域に根差した金融機関として、地域をより良くするために大学と連携して教育を行っているんです」

—どうして教育に力を入れているんですか？

「北陸銀行では、地域の高校生、大学生のみなさんに、銀行に興味を持ってもらうことが大事だと考えています。そうすれば、将来的にいい人材が集まってくると期待しているんです」

—最後に、金城大学との連携で楽しみにしていることを教えてください。

「金城大学で学べる環境への取り組みやDXなどの学びは、北陸銀行が力を入れて取り組んでいるテーマとも一致しています。それらの課題に対して、学生さんと一緒に新しいアイデアを考えていきたいですね」

総合政策学部 総合経済学科 2024年4月開設予定

*仮称・設置認可申請中。設置計画は予定であり、内容は変更となる可能性があります。

農産物や水産物をブランド化して、観光を強化する。空き店舗や空き家を有効活用して、活気を取り戻す。伝統産業や伝統工芸を、次の世代に受け継ぐ。IoTやAI技術を活用して、新たなサービスを生み出す。

金城大学のある石川県白山市では、今、このような課題に取り組める企業人を切実に求めています。その期待に応えるために、金城大学の新しいチャレンジが始まります。

1年次	2年次	3年次	4年次
《基礎科目・主題科目》教養教育科目			
《専門基本科目》	《専門展開科目》		
経済学 経営学	SDGs(白山市SDGs未来都市計画など)の実現 地域社会への貢献(産業振興、地域活性化) 賑わいと活力がみなぎるまちづくり研究(ゼミ活動)		
社会学 メディア/ 社会調査	経済学 経営学 SDGs/ 地域経済/ マーケティング/ 地域ブランド/ ベンチャービジネス/ ビジネスイノベーション	社会学 環境への展開 カーボンニュートラル/ ビオトープ/環境マネジメント	
情報リテラシー データサイエンス/ AI/IoT/DX/ ビッグデータなど	健康への展開 健康増進/QOL/ アンチエイジング		
	PBL学修	公務員支援 キャリア支援	

学びのイメージ

中心的な学問分野は「経済学」「経営学」「社会学(環境・健康への展開)」の3つ。加えて、近年注目を集めているデータサイエンスなどの「情報リテラシー」を学べることも特徴です。2年次以降は「PBL学修」や「まちづくり研究」などで、積極的にキャンパスの外へ出て学びます。



連携企業PBL学修

学びの特徴は「連携企業100社以上」とのPBL(課題解決型)学修です。石川県白山市には、県内有数のものづくり企業があります。さらに豊かな自然に囲まれ、伝統的な発酵食品文化などの魅力もあります。この場所で、実践的に学びながら、企業や自治体で働くうえで必要なスキルを身につける。これが、「金城大学流」の学びのスタイルです。



STEP1: 課題発見学修

- 2年次 連携企業 PBL 演習Ⅰ(課題発見)
- 2年次 インターンシップⅠ(学外3日間)

STEP2: 課題解決実践学修

- 2年次 連携企業 PBL 演習Ⅱ(課題解決へのプロセス)
- 2年次 インターンシップⅡ(学外3日間)
- 3年次 連携企業 PBL 演習Ⅲ(解決策の実践)
- 3年次 連携企業 PBL 実習(学外10日間)

STEP3: 賑わいと活力がみなぎるまちづくり研究

- 3年次 基礎ゼミⅠ・Ⅱ
- 4年次 卒業研究ゼミⅠ・Ⅱ
- 4年次 卒業論文

令和5年度 オープンキャンパス日程

行事名称・区分	日程
オープンキャンパス	5/21(日)
	6/18(日)
	7/15(土)
	7/16(日)
	8/6(日)
	8/19(土)
	8/20(日)
	9/18(月)
	10/22(日)
その他の学生募集関連行事	推薦・一般入学者選抜対策セミナー 9月24日(日)
春のオープンキャンパス	2024年3月24日(日)

金城大学資料請求者数の推移（2023年2月28日時点）

【資料】

学科	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
社会福祉学科	2022年度	128	89	87	244	156	62	78	45	54	48	50	0	1,041	143.6%
	2021年度	71	64	88	70	30	46	76	72	68	37	24	79	725	95.5%
	2020年度	53	55	110	88	59	59	56	51	34	16	38	140	759	-
子ども教育保育学科	2022年度	120	85	145	272	164	84	60	38	50	40	27	0	1,085	145.4%
	2021年度	78	59	102	48	44	47	66	59	65	41	43	94	746	96.4%
	2020年度	46	58	119	102	53	66	51	35	19	77	74	74	774	-
理学療法学科	2022年度	105	96	166	57	28	61	124	32	81	53	26	0	829	120.8%
	2021年度	91	87	141	57	20	22	48	39	48	42	29	62	686	100.7%
	2020年度	88	83	89	64	49	41	44	40	71	11	27	74	681	-
作業療法学科	2022年度	55	62	102	41	10	52	109	12	68	44	16	0	571	138.9%
	2021年度	49	40	111	26	16	16	24	26	29	16	20	38	411	85.4%
	2020年度	82	71	74	33	31	19	30	22	34	4	22	59	481	-
看護学科	2022年度	68	86	162	141	61	90	123	98	97	110	53	0	1,089	124.0%
	2021年度	116	72	142	42	29	27	103	55	108	55	49	80	878	90.6%
	2020年度	63	57	80	69	52	106	66	72	170	48	81	105	969	-
学科未定	2022年度	867	1,146	1,357	769	666	349	392	439	372	430	421	0	7,208	88.3%
	2021年度	864	1,073	1,209	820	631	305	460	395	418	384	812	788	8,159	98.5%
	2020年度	631	513	831	1,090	904	526	800	650	664	372	540	765	8,286	-
合計	2022年度	1,343	1,564	2,019	1,524	1,085	698	886	664	722	725	593	0	11,823	101.9%
	2021年度	1,269	1,395	1,793	1,063	770	463	777	646	736	575	977	1,141	11,605	97.1%
	2020年度	963	837	1,303	1,446	1,148	817	1,047	870	992	528	782	1,217	11,950	-

金城大学就職状況

【資料】

		社会福祉学部	医療健康学部	看護学部	大学全体
令和3年度	卒業者（人）	147	82	84	313
	進学その他（人）	6	5	8	19
	就職希望者（人）	141	77	76	294
	就職者（人）	141	77	76	294
	就職率	100%	100%	100%	100%
令和2年度	卒業者（人）	111	83	85	279
	進学その他（人）	5	9	5	19
	就職希望者（人）	106	74	80	260
	就職者（人）	104	72	80	256
	就職率	98.1%	97.3%	100%	98.5%
令和元年度	卒業者（人）	129	75	76	280
	進学その他（人）	3	0	3	6
	就職希望者（人）	126	75	73	274
	就職者（人）	125	75	73	273
	就職率	99.2%	100%	100%	99.6%
平成30年度	卒業者（人）	143	97	80	320
	進学その他（人）	2	6	5	13
	就職希望者（人）	141	91	75	307
	就職者（人）	140	91	75	306
	就職率	99.3%	100%	100%	99.7%
平成29年度	卒業者（人）	149	88	—	237
	進学その他（人）	6	5	—	11
	就職希望者（人）	143	83	—	226
	就職者（人）	141	83	—	224
	就職率	98.6%	100%	—	99.1%
平成28年度	卒業者（人）	150	88	—	238
	進学その他（人）	5	2	—	7
	就職希望者（人）	145	86	—	231
	就職者（人）	143	86	—	229
	就職率	98.6%	100%	—	99.1%
平成27年度	卒業者（人）	159	70	—	229
	進学その他（人）	5	5	—	10
	就職希望者（人）	154	65	—	219
	就職者（人）	152	65	—	217
	就職率	98.7%	100%	—	99.1%
平成26年度	卒業者（人）	159	61	—	220
	進学その他（人）	6	3	—	9
	就職希望者（人）	153	58	—	211
	就職者（人）	151	58	—	209
	就職率	98.7%	100%	—	99.1%
平成25年度	卒業者（人）	178	77	—	255
	進学その他（人）	12	1	—	13
	就職希望者（人）	166	76	—	242
	就職者（人）	163	76	—	239
	就職率	98.2%	100%	—	98.8%
平成24年度	卒業者（人）	165	64	—	229
	進学その他（人）	10	2	—	12
	就職希望者（人）	155	62	—	217
	就職者（人）	152	62	—	214
	就職率	98.1%	100%	—	98.6%

金城大学就職状況

		社会福祉学部	医療健康学部		大学全体
平成23年度	卒業者（人）	172	58	—	230
	進学その他（人）	5	6	—	11
	就職希望者（人）	167	52	—	219
	就職者（人）	166	52	—	218
	就職率	99.4%	100%	—	99.5%
平成22年度	卒業者（人）	223	58	—	281
	進学その他（人）	11	6	—	17
	就職希望者（人）	212	52	—	264
	就職者（人）	204	52	—	256
	就職率	96.2%	100%	—	97.0%
平成21年度	卒業者（人）	191	—	—	—
	進学その他（人）	13	—	—	—
	就職希望者（人）	178	—	—	—
	就職者（人）	174	—	—	—
	就職率	97.8%	—	—	97.8%
平成20年度	卒業者（人）	186	—	—	—
	進学その他（人）	7	—	—	—
	就職希望者（人）	179	—	—	—
	就職者（人）	175	—	—	—
	就職率	97.8%	—	—	97.8%
平成19年度	卒業者（人）	210	—	—	—
	進学その他（人）	13	—	—	—
	就職希望者（人）	197	—	—	—
	就職者（人）	195	—	—	—
	就職率	99.0%	—	—	99.0%
平成18年度	卒業者（人）	197	—	—	—
	進学その他（人）	12	—	—	—
	就職希望者（人）	185	—	—	—
	就職者（人）	183	—	—	—
	就職率	98.9%	—	—	98.9%
平成17年度	卒業者（人）	194	—	—	—
	進学その他（人）	11	—	—	—
	就職希望者（人）	183	—	—	—
	就職者（人）	181	—	—	—
	就職率	98.9%	—	—	98.9%
平成16年度	卒業者（人）	227	—	—	—
	進学その他（人）	16	—	—	—
	就職希望者（人）	211	—	—	—
	就職者（人）	209	—	—	—
	就職率	99.1%	—	—	99.1%
平成15年度	卒業者（人）	180	—	—	—
	進学その他（人）	11	—	—	—
	就職希望者（人）	169	—	—	—
	就職者（人）	168	—	—	—
	就職率	99.4%	—	—	99.4%

総合経済学部総合経済学科 就職支援体制

